

神無一族自選フェアリー詰将棋集

神詰大全

神無一族

はじめに

我々の創作活動は「一族」,「f m」,「氾濫」抜きでは語れない。

一族の起源は当時フェアリーランド担当であった小林看空氏が詰将棋パラダイス誌上で紹介している。神無姓は私の創作だが、神無一族は看空(三郎)氏の創作。

互いに触発しあえる快適な創作集団は冗談から始まったことになるのだが、ものごとの始まりとは案外そんなものだろう。

一族発祥の当初からその中心にはフェアリー詰将棋創作支援プログラム f mがあった。現 f mファミリーは当時のプロトタイプとは比較にならないほど進化している。最新のハードウェア・ソフトウェア環境や多様なルールへの対応、チェスプロブレムへの応用、逆算プログラムの実験開始などなど。

しかしまだ機械だけでの創作には限界がある。機械の進化は無論、それを上回る使い手側のアイデアが機械を使った“創作”への重要な鍵となるのだ。

詰将棋パラダイス誌の450号を記念した神無一族の氾濫が思いがけずも定期化され、一族の創作の成果発表の場として定着した。

1994年6月の第2回神無一族の氾濫で、神無七郎氏がその位置付けを明示している。実はそれに先立つ“幻の氾濫”があり、事情があって詰将棋パラダイス誌には掲載されなかったのだが、右記の抜粋から判るように挑戦的なその文面は我々の考えをより明確に表したものである。我々の創作の原動力は氾濫にあると言ってもよい。

さて、本集は神無一族の自選フェアリー詰将棋集である。

2000年という世紀末の区切りに際し、これまでの創作活動の成果をまとめるべく、一族の各自が自信作について自らが語りたいことを語りただけ語るというコンセプトのもと集成した。収録作品数の目安だけは設けたものの他は特に取り決めなし。神無前時代の発表作あり、ルールもばらばらならば原稿のスタイルもばらばら、一巻の書物としての最低限の体裁を整えるだけで大変な思いをした。なお、一族の作品集とは言え作稿しない自由もあるわけで、残念ながらと言うべきか当然ながらと言うべきか一族全員の作品集とはなっていない。混沌という統一性。いかにも我々一族らしい作品集に仕上がったと思う。

今世紀での創作活動の総括は、旧来の創作法への一応の決着でもある。我々は来世紀も詰将棋創作における人間と機械のより高度な相互作用の実現を目指しながら、新たなフェアリー詰将棋の創作に挑戦し続けていこう。

2000年5月 神無太郎

【1987年6月 フェアリーランド / 小林看空】

蛍火の極限の火は緑なる / 山口誓子

事件！

去る3月21～22日、小林家は、春日井市の神無一族に襲われ、第三回フェアリー祭が成立してしまったのです！！ 二人以上フェアリストが集まれば、至るところフェアリー祭なのです！

席上話題になったことは、特に簡素図式（特に盤上持駒合せて7枚以内）の7手以内のばか詰で、コンピューターチェックの可能性でした。とりあえず、神無一族が拡大結成され、担当は神無三郎の名が与えられ、以下六郎まで埋まりました。

別れてからしばらくして、神無太郎氏より手紙

『神無次郎さんが作っているばか詰全検プログラム“f m”のプロトタイプ版を、今日の昼休みに動かしてみました。

…

f m未完成なれど、仲々使いものになりそうだという報告まで』

…

【1993年 幻の氾濫 / 神無七郎】

「解答」から「検討」へ、そして「創作支援」へ。

「神無一族の氾濫」は詰将棋におけるコンピューターの役割を理念上のものから、実践へ移行するための実験的プロジェクトである。作品を提供する我々だけでなく、解答を寄せる人、意見を述べる人、少しでも関心を示す人、全てがこのプロジェクトの参加者である。これが回を重ねる毎に次のことが明らかになるだろう。すなわち、コンピューターを使って詰将棋を作るということがどういうことなのか。また、その詰将棋を解いたり鑑賞したりすることが何の意味を持つのか。とどのつまり、詰将棋+コンピューター+人間の関わりはどのようになるのか。

普通の詰将棋にしか関心のない方も、このプロジェクトの推移は見ておいて頂きたい。これをフェアリーの世界の話として傍観できる状況は、そう長くは続かないだろうから。

…

（全文は http://www.netlaputa.ne.jp/~k_7ro<注1>で参照可）

注1：現在は http://www.abz.jp/~k_7ro。

目 次

| | | |
|---------------------|----------|-----|
| はじめに | | 2 |
| ル ー ル | | 6 |
| GOING FOR THE ONE | 神 無 太 郎 | 9 |
| 【1-1】マドラシばか詰 5手 | | 10a |
| 【1-2】キルケばか詰 5手 ツイン | | 10b |
| 【1-3】ばか詰 11手 | | 11a |
| 【1-4】打歩ばか自殺詰 14手 | | 12a |
| 【1-5】対面ばか自殺詰 16手 | 「百万石」 | 13a |
| 【1-6】Kマドラシばか自殺詰 36手 | 「飛行艇」 | 15a |
| 【1-7】攻方取禁ばか詰 37手 | 「龍踊り」 | 16b |
| 【1-8】ばか自殺詰 170手 | 「匣の中の失楽」 | 18a |
| 姫 三 昧 | 神 無 三 郎 | 21 |
| 【3-1】ばか自殺詰 14手 | 「謎姫」 | 22a |
| 【3-2】打歩ばか詰 173手 | 「輪姫」 | 23a |
| 【3-3】ばか詰 41手 | 「橋姫」 | 24b |
| 【3-4】衝立詰 15手 | | 25b |
| 【3-5】ばか詰 77手 | 「飛行船」 | 27a |
| 【3-6】ばか自殺詰 6手 | | 29a |
| 【3-7】クイーンばか詰 7手 | | 30a |
| 【3-8】打歩ばか詰 33手 | 「白雪姫」 | 31a |
| 【3-9】ばか自殺詰 60手 | 「風の砦」 | 32b |
| 【3-10】ばか詰 29手 | 「時姫」 | 33b |
| 【3-11】背面キルケばか自殺詰 4手 | | 34b |
| 【3-12】ばか自殺詰 8手 | | 37a |
| 【3-13】1/2手詰 | | 38a |

A RAINBOW IN CURVED AIR

神無七郎

41

| | | |
|------------------|--|-----|
| 【7-1】天竺詰 147手 | | 42a |
| 【7-2】天竺詰 87手 | | 43b |
| 【7-3】ばか自殺詰 14手 | | 45a |
| 【7-4】天竺ばか自殺詰 8手 | | 46a |
| 【7-5】対面ばか自殺詰 18手 | | 47a |
| 【7-6】対面ばか詰 73手 | | 48a |
| 【7-7】キルケばか詰 109手 | | 49a |
| 【7-8】ばか自殺詰 20手 | | 50a |
| 【7-9】駱駝王ばか詰 77手 | | 51a |
| 【7-10】ばか詰 125手 | | 52a |

九九

神無大九郎

55

| | | |
|------------------|----------|-----|
| 【9-1】ばか詰 5手 2解 | | 56a |
| 【9-2】ばか詰 7手 | | 56b |
| 【9-3】対面ばか自殺詰 8手 | | 57a |
| 【9-4】対面ばか自殺詰 8手 | | 57b |
| 【9-5】対面ばか自殺詰 8手 | | 58b |
| 【9-6】ばか自殺詰 60手 | 「なりなり6」 | 59b |
| 【9-7】ばか自殺詰 100手 | 「なりなり7」 | 62a |
| 【9-8】ばか自殺詰 96手 | 「なりなり8」 | 63a |
| 【9-9】ばか自殺詰 106手 | 「なりなり10」 | 64a |
| 【9-10】ばか自殺詰 100手 | 「なりなり14」 | 66b |

京の土産

神無右京

69

| | | |
|--------------------------------------|-------------------|-----|
| 【10 ¹⁶ -1】京都詰 23手 | 「大喜利」 | 70a |
| 【10 ¹⁶ -2】ボカスカ詰 69手 | 「佐藤の主題による変奏曲とフーガ」 | 72a |
| 【10 ¹⁶ -3】寝済の花嫁 41手 | 「アダムとイブ」 | 73a |
| 【10 ¹⁶ -4】ナイト王ばか自殺詰 8手 | | 74a |
| 【10 ¹⁶ -5】背面Kマドラシばか自殺詰 6手 | | 76a |

ル - ル

【ばか詰】

攻方受方協力して最短手数で受方の玉を詰める詰将棋。

【ばか自殺詰】

攻方受方協力して最短手数で攻方の王を詰める詰将棋。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる。

【対面】

敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる。

【背面】

敵駒と背中合わせになると、互いに利きが入れ替わる。

【天竺】

玉（王）の利きが王手をした駒の利きになる。

【マドラシ、Kマドラシ】

同種の駒（生駒と成駒は区別する）が互いの利きに入ると、利きがなくなる。玉と王を例外とするものを単にマドラシ、玉と王も例外としないものをKマドラシと言う。

【キルケ】

取られた駒が取られた位置に最も近い将棋での指し始め位置に戻される。すでに駒がある、二歩禁などで駒が戻せないときは取った方の持駒になる。

【打歩】

打歩で詰めなければならない。打歩以外の詰手は禁手。

【攻方取禁】

攻方は駒を取れない。詰上りの判定は通常のばか詰と同じ。

【成禁】

敵陣三段以内に駒が進んでも成れない。

【マキシ】

受方は駒の移動距離の最も長い手を選択しなければならない。打つ手の移動距離は1。

【駒詰】

玉（王）が指定駒の性能になる。

クイーン： チェスの駒。飛車と角の性能を合わせ持つ。

ナイト： チェスの駒。八方桂の性能を持つ。

駱駝： フェアリーチェスの駒。1対3の八方桂。

ゼブラ： フェアリーチェスの駒。2対3の八方桂。

Five Leaper： フェアリーチェスの駒。一桙の距離を1として距離5の桙に跳ぶ。

ナイトライダー： フェアリーチェスの駒。ナイトの利きの方向に走る。

獅子： 中将棋の駒。2手指しできる玉の性能を持つ。

【衝立詰】

受方の指手は衝立将棋における情報しかわからない。攻方が衝立将棋における反則手を指した場合は、代りの手を指せる。反則は8回まで可。

【京都詰（別名：京都銀閣金鶏飛譜）】

5×5の盤と、裏表の関係が香 - と、銀 - 角、金 - 桂、飛 - 歩（別名の通り）と玉（王）の5種各2枚の駒を使用する。1手指す毎に必ずその駒を裏返す。打つときはどちらの面で打ってもよい。利きのない駒、二歩、打歩詰は禁手にならない。

【ボカスカ詰】

盤上にある味方の同じ種類の駒を、すべて同時に同一方向に動かす。動かせない駒があれば、動かせるだけ動かす。成・不成は1枚毎に自由。持駒も同じ種類の駒はすべて同時に打つ。ただし歩だけは例外で、打つのも動くのも単独。

【寝済の花嫁】

左向き銀（=姫）を左向き金（=子）で詰める。必ずバックで詰め上げること。姫は敵陣に入ると成って左向き金になるので詰められなくなる。

【0手詰、1/6手詰、1/2手詰、1手詰】

ユーモアとエスプリを楽しむ作品群。

神無太郎自選フェアリー詰将棋集

GOING FOR THE ONE

神 無 太 郎

【1-1】

1995年6月 第4回神無一族の氾濫
神無太郎

マドラシばか詰 5手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | 歩 | 王 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 歩 | 角 | 六 |
| | | | | | | | | 飛 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂

43角生、97飛、32角生、98角、
87桂 まで 5手

山田嘉則氏のマドラシばか詰 9手 (1989年10月 将20号)の構想(復活両王手)と、その実現方法に対する花沢正純氏の建設的疑問(作意順で止めを22X打にすれば図柄が小さく成る。そうしなかった理由は何だろう?)が創作の出発点。山田作の場合、単純に最終手を打にしようとするとうと角と飛の打場所が非限定になってしまう。本作では飛車・角双方をあらかじめ盤に配することでそれをうまく解消したつもり。コンパクトな初形から飛車・角の連続最遠打が飛び出す構成は気に入っている。

余談その1: 持駒桂の「利き」は作意手順とは無関係であるが、桂以外だとこのルールでは完全作にはならない。

【1-2】

1994年12月 第3回神無一族の氾濫
神無太郎 + 神無次郎

キルケばか詰 5手 ツイン

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 王 | 爵 | | | | | | | | 一 |
| 王 | 爵 | | | | | | | | 二 |
| 王 | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛 角

19角、81玉、82飛、同玉/28飛、
88飛 まで 5手

b) 91玉 81玉

89飛、91玉、82角、同玉/88角、
55角 まで 5手

当初はa)のみ(ただし93金は歩)の単一作であった。次郎氏の「飛車と角を入れ換えたらどうなるの?」という指摘でできたのがb) 93歩を93金にただけで双方唯一解になったのはラッキーであった。チェス流のツインにはなかなかないが、創作の経緯はともかくとして、この結果はツインの極みと自負している。

余談その2: 盤面の右辺で創作を開始した。

【1-3】

1996年12月 第6回神無一族の氾濫
神無太郎
改訂図

ばか詰 11手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 王 | | | | | 五 |
| | | | | 王 | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 香2

19香、27玉、29香、28角、
同香、36玉、27角、25玉、
18角、14玉、36角 まで 11手

中出慶一氏の3手詰[1-3b]で、手数と配置のアンバランスがずっと気になっていた。あるとき(数年後だったか)ふとどこまで逆算できるか試してみた。結果、受方の飛車2枚を盤上に配置することによって舞台装置皆無の初形にまで逆算できたのは我ながらうまくいったものと思う。ただ、初出時の飛車の配置では同手数の「すかし詰」も成立したため、受方2枚の飛車の配置を絨毯爆撃で検査、「すかし詰」を認めた上で唯一解となる全11パターンを得た。途中何度も配置変更したが、玉の周りが広く空いていて飛も凝っている、つまり裸玉の香りがもっとも感じられる本図を最終図とした。

[1-3b]

1985年3月 フェアリーランド
中出慶一

ばか詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | 飛 | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 王 | | | | | 五 |
| | | | | | | | マ | | 六 |
| | | | | 角 | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | 香 | 香 | | | | 九 |

持駒 なし

【1-4】

1997年12月 第8回神無一族の氾濫
 神無太郎
 改訂図

打歩ばか自殺詰 14手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | 王 | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | 王 | | | | |

持駒 香

29香、28角、同香、36玉、
 69角、58飛、同角、47桂、
 16飛、26角、同飛、37玉、
 59角、48歩 まで 14手

打歩詰の定義をめぐる議論のなかで、右京氏に例題を示そうと思って創って見たもの [1-4b] の改訂図。

詰上り図は既定の配置で、いかに攻方の使用駒（飛角角）を補充するような逆算をするのが問題。実際には、持駒飛角角の6手で完全となる双裸玉の配置があり、またその図から持駒を1枚減らして手数を2手延ばすという逆算（+図面の平行移動）もあらゆるパターンで成功する。つまり、持駒飛角の8手、持駒角角の8手、持駒飛の10手、持駒角の10手のそれぞれで双裸玉の完全作が得られる。

初出時はその中の持駒飛の10手版であったが、その後さらに持駒を香1枚にする4

手逆算の可能性に気付き、持駒角の10手版から4手逆算したのが本図。

2手目の限定あればこそ、この逆算を採ることにした。25玉の配置で完全ならば言うことはなかったのだが。

[1-4b]

1997年8月 Online Fairy Mate 107号
 神無太郎

打歩ばか自殺詰 10手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | 王 | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | 王 | | | | |

持駒 飛

打歩詰の定義をめぐる議論とは上図の最終手に対する58同角をどう解釈するかということ。58同角の1手があるから自殺失敗とするのか、あるいはその手では後手玉を打歩以外の手段で詰めることになるので禁手、つまり58同角とできないので自殺成立とするのか。

その後「打歩」ルールをどう解釈するかでどちらの解釈もあり得るといのが結論となった。打歩詰を合法とした上で詰上りに打歩の条件付けをするものとするると自殺失敗、打歩詰を合法とした上で打歩以外の詰を禁手とすると自殺成立となる。私はむろん後者を探る。

【1-5】

1994年12月 第3回神無一族の氾濫
神無太郎「百万石」

対面ばか自殺詰 16手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | 王 | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| 王 | 龍 | 馬 | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

88馬、87銀成、77馬、76金、
66馬、65金、55馬、54金、
44馬、43銀、33馬、32銀打、
22馬、21金、11馬、33角 まで 16手

加賀孝志氏の作 [1-5b] の作意を一見して(出題時は解いていなかったのだ) 収束6手からの逆算がもったいないと思った。この収束はもっと自然に敷衍できるはずと感じたのである。そしてそれを最大限に実践したのが本図。

最初の試作品は角を持駒にした10手詰 [1-5c] 王を囲う駒すべてを角1枚で発生させる作意は直感を100%具現化したものであった。

[1-5b]

1999年5月 フェアリーランド
加賀孝志

対面ばか自殺詰 10手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | 龍 | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 王 | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | 王 | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

[1-5c]

1994年6月 Online Fairy Mate 020号
神無太郎

対面ばか自殺詰 10手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 王 | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 角

一度持駒にした駒を盤面に配することは手の自由後を極端に狭める気がして抵抗があるのだが、この図に関してはその代

償に比してはるかに大きな果実を得ることができる。持駒の角を盤に配することによってさらに2手逆算でき、しかも余詰消しの駒をすべて消し去ることができたのだ[1-5d]、ひとつの到達点であると思う。

(どうでもいいことだが、角の配置は17の方がよかったかどうか)

さらに逆算しようとする少し事情が変わってくる。

12手までの逆算では対駒の金銀は王手を回避する、あるいは王を包囲するという意味付けで限定できた。

しかしさらなる逆算では金銀いずれでも可という対駒を発生させる必要が出てくる。最も簡単な対処方法は金が銀のいずれか一方を売り切れ状態にすること。金だと売り切れにする駒は1枚で済むのでその方向でまとめたのが[1-5e]で、18金の配置がそれである。配置場所はどこでもよかったのだが、後続の対駒の配列に自然につながるようにしてみた。

究極の16手版は、銀を2枚配して売り切れ状態にした上で、その一方を最初に移動対させるという七郎氏のすこぶる付きのアイデアで実現された。【1-5】は七郎氏の案そのものである。

16手版はこれ以前に、一旦対駒で発生させた銀を移動対させるなどの手法で実現していたが、対駒の列に空きができるのが正に画竜点睛を欠く感じで七郎氏がこれを解消してくれたのである。

逆算中は三郎氏を始めとする神無一族の面々には多くの励ましを頂き、七郎氏の最終図につながった。一族の協力に感謝。

[1-5d]

1994年3月 Online Fairy Mate 006号
神無太郎

対面ばか自殺詰 12手

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | | | 一 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 二 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 三 | | | | | | | | |
| | | | | | | 王 | | | | 四 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 五 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 六 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 七 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 八 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 角 | 王 | | 九 | | | | | | | | |

持駒 なし

[1-5e]

1994年4月 Online Fairy Mate 011号
神無太郎

対面ばか自殺詰 14手

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | | | 一 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 二 | | | | | | | | |
| | | | | | | 王 | | | | 三 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 四 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 五 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 馬 | 六 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 王 | 七 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 王 | 八 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 王 | 九 | | | | | | | | |

持駒 なし

【1-6】

1999年12月 第12回神無一族の氾濫
神無太郎「飛行艇」

Kマドラシばか自殺詰 36手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | 皇 | 皇 | 三 |
| | | | | | | | | 皇 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | 角 | | | 六 |
| | | | | | | | 龍 | 王 | 七 |
| | | | | | | 皇 | | 皇 | 八 |
| | | | | | | | 香 | 王 | 九 |

持駒 歩14

18龍、98飛成、88歩、同龍、
78歩、同龍、68歩、同龍、
58歩、同龍、48歩、同龍、
38歩、同龍、28歩、同龍、
同香、18玉、19飛、99飛、
89歩、同飛生、79歩、同飛生、
69歩、同飛生、59歩、同飛生、
49歩、同飛生、39歩、同飛生、
29歩、同飛生、25歩、同角 まで 36手

この図の誕生の経緯はなかなか面白い。
小林看空氏のフェアリーランド登場100
回作戦の副産物なのである。

1999年8月の三郎邸での神無一族の会合
のおり、小林看空のFL登場回数が100
回に近いことが話題になり、数年来の(小林
看空としての)沈黙を破って一気に登場
100回のフェアリー同人をめざすこと
になった(と思う)。その、復帰第一作と
して三郎氏が作ってきたばか詰のテーマ

が歩の7連続合。

その作とは無関係に小林看空氏のFLへ
の最終登場の詰パラ1993年10月号を見て
いたところ、FL結果稿の上田吉一氏の
Kマドラシ協力自殺詰 14手が目に止ま
った。そのテーマは(持駒の)歩の5連打。
看空FL復帰予定作のテーマとの奇妙な
暗合を感じ、歩の7連合の創作は自分には
無理としても歩の連打ならなんとかなる
のではと、とりあえず角の石化と復活を
繰り返す歩の6連打もののKマドラシば
か自殺詰をでっちあげた。

角ではこれ以上は無理そうなので、飛車
に方向転換。九段目で飛車の石化と復活
を繰り返す7連打もののKマドラシばか
自殺の創作を初めた。これもわりあい簡
単に図化することができた。初形も「ト」
の字にでき、通常なら目指したものが付
加価値つきで得られたということで、こ
れで創作はお仕舞いなのだが、なんと三
郎氏が歩の7連続合2回の創作への挑戦を
宣言し、なおかつ実現してしまったのだ。

宣言時にはそんなものできるわけないと
思っていたので驚愕と同時に7連打2回を
目指さざるを得なくなった。それで、九
段目の7連打の前に、1路目で歩の連打を
させる図を模索した。1路目の連打と九段
目の連打はうまく連結させることができ
たが、1路目での7連打が達成できず、5
連打がせいぜいであった。機構的に7連打
は不可能で、6連打も無理な感じである。

またまた通常ならこれで創作はお仕舞い
なんであるが、またまた触発媒体が出現、
次郎氏試作中の逆算プログラム r f m
(レトロ f m:指定局面からの2手ずつの
逆算とその結果表示を対話的に行うも
の)である。

r f mでKマドラシばか自殺詰もサポートしたという連絡を受けて、r f mのテストのつもりで5連打+7連打の詰上りから初形への逆算手順を生成できるかを試してみた。その結果みごと逆算できた。それはそれでいいのだが、九段目から1路目への連結部分で八段目へのスムーズな連結の手も逆算してきた。八段目では7連打も可能であったため収録図が得られたという訳である。

なお、最終の自殺機構は八段目での攻防を妨げないようにするため、当初の図の機構より複雑になってしまったが、歩打での角の利きの復活と石化となり、よりテーマにふさわしいものとなったと思う。

【1-7】

1999年12月 第12回神無一族の氾濫
神無太郎 + 神無六郎「龍踊り」

攻方取禁ばか詰 37手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 馬 | 馬 | | | | | 五 |
| | | | | | | 馬 | | 馬 | | 六 |
| | | | | | | | 龍 | | | 七 |
| | | | | | | 馬 | | 馬 | | 八 |
| | | | | | | | | 王 | | 九 |

持駒 なし

- 39龍、18玉、19龍、27玉、
- 17龍、38玉、37龍、49玉、
- 39龍、58玉、59龍、67玉、
- 56龍、78玉、76龍、77金、
- 87龍、68玉、88龍、78飛、
- 79龍、67玉、69龍、68金打、
- 58龍、76玉、56龍、66金、
- 67龍、87玉、76龍、88玉、
- 86龍、87金打、97龍、79玉、
- 99龍 まで 37手

この奇妙なルールは六郎氏の発案。マドラシや対面等のルールとの組み合わせも面白い手筋、趣向がいっぱいあるはずと六郎氏は見ている。

本図の原案も六郎氏。作意は未聞であるが、龍1枚で移動合を含め合駒を多量に発生させる狙いは本図の狙いそのもの。その原案図に早詰指摘したのが三郎氏。収束あたりで合駒ブロックを生成する手順

であった。これを見逃す手はない。

まず、その合駒ブロック生成部分を純粹培養してみた。17手で飛車1回金3回を合駒で発生させる図である。この場合、角2枚金1枚銀4枚を合駒制限のみの意味付けで盤上に配する必要がある。

しばらくして23手で飛合1回金合4回の図を得た。龍の軌跡を限定するために駒2枚(例えば角2枚)を配さなければならないので、合駒制限の配置は4枚(例えば銀4枚)となる。

合駒の順序が限定できなくなるのでさらに合駒の回数を増やすことはできない。ということで、後は銀を適当な、例えば盤の端っこのほうにでも置いて一丁あがり、と済ませるつもりでいた。六郎氏もそういう表現がいいと言っていたし。ところが悪魔がいたんですねえ。その名は七郎。

悪魔の囁きその1:やっぱり全部の駒に合駒制限以外の意味を持たせたほうがいい。

この囁きに誘導され、玉を右上から左下に龍で追い落とすよう6手逆算して、その軌跡を銀4枚で無理矢理(非効率的にの意)限定させることに成功した。

取りあえず悪魔の条件は満たしたが、こんな逆算では、だからと言って作品の価値が上がるとも思えない。

その後、初形11龍まで逆算でき、これならば龍が1199と移動するので少しストーリーめいていて、まあ許せるかなと思えた。全検するには時間がかかり過ぎるので簡易検索を積み重ねていたところ、

悪魔の囁きその2:1199よりも1999のほうがいい。9999ならもっといい。

という囁きの追い討ちがあった。それで

とりあえず1199版の完全検討を悪魔に依頼した。悪魔所有のマシンが一族内で最高のスペックだったからである。検討には数日かかると予想していたが、十数時間であっさり余詰。少なくともさらに駒を1枚置かないと余詰が解消できないことが判明した。

一旦1199の作図は棚上げし、悪魔の囁き第二段に應えることにした。ただし、伝家の宝刀「絨毯爆撃」を以って。

つまり、盤面の右下あたりに攻方の龍と受方の玉、銀4枚を適当に配して、収束が合駒ブロックを生成する23手になるような完全作を見つけるわけである。ただしまともにfmで検討させると1題でも週のオーダの時間がかかるしろものである。知恵を絞らないと絨毯爆撃は事実上行えない。fmの各種機能を駆使して、数日で五十数万局面を試すことができた。その中から有望そうな400局くらいを候補として選定し、手で再精査し、結局、本図を4手進めたところの図を探し出すことができた。

これから2手逆算すれば初形を99龍にできるが、これも単に悪魔の囁きその2に應えただけの結果となるので、前半の手順の自然な延長となるよう4手逆算した収録図を最終図とした。

【1-8】

1998年6月 第9回神無一族の氾濫
神無小五郎「匣の中の失楽」

ばか自殺詰 170手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | 桂 | 歩 | 桂 | 飛 | | 五 |
| | | | | 金 | 香 | 桂 | | 銀 | | 六 |
| | | | 金 | 香 | と | と | 王 | 銀 | | 七 |
| | | | 金 | 香 | | | 桂 | 角 | | 八 |
| | | | 金 | 香 | | 王 | 銀 | 角 | | 九 |

持駒 なし

38と、49玉、48と寄、39玉、
49と、同玉、48と、39玉、
49と、同玉、38銀、48玉、
49銀、47玉、29角、38飛、
同銀、48玉、49銀、同玉、
47飛、48歩、同飛、39玉、
38飛、49玉、39飛、48玉、
38飛、47玉、37飛、48玉、
47飛、39玉、37飛、49玉、
38角、39玉、47角、38銀、
同飛、29玉、37飛、38銀、
同角、39玉、49角、同玉、
47飛、48歩、同飛、39玉、
38飛、49玉、39飛、48玉、
38飛、47玉、37飛、48玉、
47飛、39玉、37飛、38角、
同飛、49玉、39飛、48玉、
38飛、47玉、37飛、48玉、
49銀、同玉、47飛、48歩、
同飛、同玉、26角、37飛、
同角、39玉、48角、49玉、

29飛、39銀、38銀、48玉、
49銀、47玉、48歩、同銀成、
38銀、同全、49飛、48角、
同飛、同玉、26角、37飛、
同角、39玉、48角、同玉、
49歩、同玉、29飛、39角、
同飛、48玉、49歩、同全、
38飛、47玉、37飛、48玉、
47飛、39玉、37飛、29玉、
47角、38銀、同角、39玉、
48銀、同全、47角、38銀、
同飛、29玉、37飛、38全、
18銀、39玉、38飛、49玉、
39飛、48玉、38飛、47玉、
37飛、48玉、47飛、39玉、
37飛、38角、同飛、49玉、
39飛、48玉、38飛、47玉、
37飛、48玉、47飛、39玉、
37飛、49玉、47飛、48歩、
同飛、同玉、49歩、47玉、
29角、38飛、48歩、同玉、
37銀、同飛成 まで 170手

神無大九郎氏の「なりなり」シリーズ、
中でも「なりなり6」に触発されて創った
もの。「なりなり6」はシリーズ中では最
も手数短い部類だが、それでも60手
である。使用駒も少なく密室型ばか自殺詰
のひとつの理想の実現と言ってもいいと
思う。これに触発されないようではフェア
リストの名が廃ると思ったかどうか記
憶は定かではないが、大九郎氏に密室型
ばか自殺詰の創作方法を伝授してもうこ
ことにした。

その奥義はたった1行。愕然とした。その
職人芸的な方法には唖然とするしかなか
った。読者諸氏よ、奥義ゆえここに公開
できないことを了とされよ。

それで「なりなり」シリーズに対抗する
べく、その奥義に従って「なまなま」シ

シリーズの創作を開始してはみたものの、なかなか長手数での完全なものではない。番号が増えるにつれ手数も内容もだんだんと落ちて行くという情けない結果となった。ついに60手を超えられずシリーズ打ち切りを決心した頃、ひとつの素材を発見。詰上り型が1通りしかなく、しかもそれに至る手順も一通りというものである。

この素材に対しては徹底的に「絨毯爆撃」を浴びせた。「絨毯爆撃」を繰り返すたびに手数が伸びるというなんと不思議な素材であったからだ。

数次に渡る「絨毯爆撃」が収束しほぼ作品としての骨格を固めたとき、色気を出して2種類の序奏を付けてみた。双方とも総手数は170手。

ひとつは「絨毯爆撃」の標的にはしづらいものであったが、もう一方は完全に「絨毯爆撃」向きであったので、爆撃してみた。しかし成果はなし。つまり手で作った序奏が爆撃範囲内で最善であることを確認するに止まった。最終図は絨毯爆撃で検証済みの序奏を持つものとした。

周囲の評価は作者の思いよりはるかに高いようだ。一例に、結果稿では紙面の都合で一部のみ引用となった中村剣氏の熱い評を全文掲載しておく。

[中村剣氏解答評全文]

これはもう評価7を与えたい作品だが、評価が6までしか出来ないのが残念でならない。考えつく限りの詰形から逆算して考えると、18に攻方の銀を打たして退路封鎖しておく以外の詰形は全く無理ということが解るが、38に歩が打てないのに18に銀が打てるのだろうかと思悩む。結局、成銀をつくるしか方法がないことに気づくが、成銀をつくる方法が39銀合からつくるより方法がないことに考えが至り、何とか解を捏ち上げるが、今度は手数がわずかにオーバーしている。攻方に歩・銀・角などの駒を渡す手順がまずいのだろうとあれこれ考え、何とか170手に収める。170手に収まってみると、あれ程起こりそうにみえた手順前後などが一切ない。この形でわずかのキズさえないなんて、そんな馬鹿なと子細に検討を重ねるが、どうしても見つからない。どうやら73手目の49銀打がすごい手で、銀を1枚多めに取っておいて、歩と交換した方が、手数が短くて済むという凄まじい理屈のせいで、一切の手順前後やキズなどが消えているようだ。まるで天使の悪戯のような、信じがたい理屈だ。この面白さが作者と解いた者にしか解らないのが無念でならない。何故皆もっと解こうとしないのだろうか。それにしても38に歩が打てない為に、歩の代わりに成銀が38に行くまでにかかる132手の何と長いことか。玉が移動するマス目はたった5マスしかないのに、まるで無辺際宇宙を彷徨っているかのように感得せられる。本当に内容が充実し切っている。このように楽しい時間を与えてくれたことには感謝の念に堪えない。心から御礼を述べたい。私自身の人生が輝きに溢れる程、喜びに満ち満ちた数刻をありがとう。

神無三郎自選フェアリー詰将棋集

姫 三 昧

神 無 三 郎

【3-4】

1996年6月 第5回神無一族の氾濫
神無三郎「謎姫」

ばか自殺詰 14手

| | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|--|---|---|
| | | | | | | | | 金 | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | 金 | | | | | 三 |
| | 銀 | | | | 飛 | 銀 | | | 四 |
| | | | 王 | | | | | | 五 |
| | | | | 桂 | | | | | 六 |
| | | | | 料 | 王 | 金 | | | 七 |
| | | | | 皇 | | 桂 | | | 八 |
| | | 香 | 角 | | | 爵 | | | 九 |

持駒 香

87角、76歩、69香、68飛、
同香、67金、15飛、25角、
同飛、35銀、32角、43香、
45飛、55桂 まで 14手

究極の7種合。これ以上短いものは考えられませんが。

創作過程には、まず「白雪姫」(打歩ばか詰33手7種合 - 後述)の存在があります。更にこの序の感じを借りて、作りあげたのが「不思議姫」(ばか自殺詰 20手7種合 1995年6月 OFM060)。そのとき、究極の手数は14手であり、できるだけこの究極の手数に近づけたものを作ってみようと決意しました。

詰め上がりはいちよう返し(王手した駒がピンされており、相手に逆王手された瞬間詰んでしまう詰め上がり)しか考えられませんが。これから逆算を開始、意外と簡単にプロトタイプは完成したように思います。(44飛の配置がポイント。)

当初は初手に角で香を取るむき出し手順でしたが、七郎さんから角を飛び出す手が成立する可能性を提出され、悪戦苦闘が始まりました。

歩以外の駒はそれぞれ一枚ずつ残して盤上に配置しなくてはならず、逆に歩は配置したくないのです。何度図をつくって壊していったことか。速いパソコンとfmを使って一族総がかりで検討してくれたことを有り難く思います。(確か3週間近くかかったと記憶しております。)

この作品の価値は七郎さんにしっかりと評価していただいておりますが、本当の評価は歴史がしてくれると思っています。

【3-2】

1998年6月 第9回神無一族の氾濫
神無三郎「輪姫」

打歩ばか詰 173手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | 遊 | | | 歩 | | | | 三 |
| | | | | | と | | 銀 | | | 四 |
| | | | 銀 | 銀 | 歩 | 歩 | 手 | と | | 五 |
| | | | 歩 | 歩 | 歩 | 王 | 手 | | | 六 |
| | | | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | | | 七 |
| | | | | 銀 | 角 | 王 | 金 | | | 八 |
| | | | 歩 | | | 桂 | | | | 九 |

持駒 金2 歩3

37歩、同と、47金、同杏上、
37金、同杏、47金、同馬、
同銀、同杏左、37歩、同杏、
58角、47杏左、37歩、同金、
47角、同金、38香、37角、
同香、同金、58角、47杏、
同角、同金、38香、37角、
同香、同金、58角、47龍、
同角、同歩成、56飛、46角、
同飛、同と引、58角、47香、
同角、同金、38香、37飛、
同香、同全、16飛、26角、
同飛、同圭、14角、25飛、
同角、同と、34飛、35角、
同飛、同杏、54角、45飛、
同角、同と、56飛、46角、
同飛、同金、58角、47香、
同角、同全、38香、37飛、
同香、同圭、16飛、26角、
同飛、同と、14角、25飛、
同角、同杏、34飛、35角、

同飛、同と、54角、45飛、
同角、同金、56飛、46角、
同飛、同全、58角、47香、
同角、同圭、38香、37飛、
同香、同と、16飛、26角、
同飛、同杏、14角、25飛、
同角、同と、34飛、35角、
同飛、同金、54角、45飛、
同角、同全、56飛、46角、
同飛、同圭、58角、47香、
同角、同と、38香、37飛、
同香、同圭、56飛、46角、
同飛、同と、58角、47香、
同角、同圭、38香、37飛、
同香、同杏、16飛、26角、
同飛、同と、14角、25飛、
同角、同金、34飛、35角、
同飛、同全、54角、45飛、
同角、同と、56飛、46角、
同飛、同圭、58角、47杏、
同角、同圭、38香、37圭、
同香、同と、28桂、同と、
37歩 まで 173手

構想の伏線は25年以上前。京大将棋部のボックスにあった一冊の詰将棋パラダイス。ぱらぱらとめくっていたら、加藤徹氏の詰将棋が目にとまりました。身動きできない玉のまわりから飛角を打って徐々に局面を変化させていって、詰ます構想は当時とても新鮮に思えました。この構想を何とかばか詰系で実現できないかと試みましたが、どうもばか詰ではうまくいかず、長い間ボツになっていました。

10年程前、長野にいたとき、打歩ばか詰でやれば何とかうまくいくのではないかとふと思いつき、いろいろためしたところ100手前後の図が得られました。菊田くんが家を尋ねてきたときに図を見せてみましたが、反応は今一つ。しかも、

終盤致命的な手順前後が生じており、またまたお蔵入りとなりました。

さて、fmが打歩ばか詰をサポートして、太郎さんが密室型ばか自殺詰の傑作をものにしたある日、氾濫に投稿する作品が何かないかな、とまさぐっていた時、この過去の図を発見しました。図を眺めているうちに回転の方向をひとつにすることと余詰を解消することをいっぺんに解決する妙案が浮かびました。それは玉のこびんに駒を配置することで(決定図では27歩)歩や桂馬などいろいろの配置を考えてみました。この妙案によって130手近い完全作が得られました。

これを決定図としてもよかったのですが、更に成桂、成香らの最適の配置を探っていくつもの図をためしていたところ、偶然今までの回転とは違う破調の手(130手目のと金と成桂の入れ替え)を発見しました。これで少し謎解きらしくなり、作品になってきました。これで150手台になりました。

その後、金の特性を生かした(後ろ斜めからの王手がかからない)龍馬、龍王、成香のはがしが入り、太郎さんの傑作を手数だけでも超えて満足いく仕上がりとなりました。決定図には太郎さんのアドバイスをいただき、7×6の枱にコンパクトに収まり、七郎さんにも評価していただきました。

図に成駒がふんだんに配置してあるのは、ひとつには成桂、成香がポイントであることをカムフラージュするためであり、もうひとつには解答を書きやすくするためで他意はありません。

よい刺激をも含めて、この作品の創作に対する一族のみなさんの多大なるご協力に感謝するとともに、何年も粘ればこういった作品もできるというひとつの証明ではないかとつらつら書き綴った次第です。

【3-3】

1988年5月 フェアリーランド

小林看空「橋姫」

1990年7月 カピタン46号 修正

ばか詰 41手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| 金 | 飛 | 歩 | 銀 | | 馬 | 王 | 角 | 歩 | | 四 |
| 歩 | | 歩 | 金 | | | | 銀 | マ | | 五 |
| 金 | | | 香 | 歩 | 銀 | | | マ | | 六 |
| 飛 | 桂 | | | 香 | 金 | 王 | 歩 | 王 | | 七 |
| | 桂 | マ | | | 歩 | 歩 | 香 | | | 八 |
| | マ | マ | 歩 | と | | | 歩 | | | 九 |

持駒 香

35角、26銀、同角、同桂、
19香、18角、同香、同玉、
19銀、29玉、18銀、39玉、
49と、同玉、85角、76桂、
同角、67歩、同角、58香、
同角、同玉、59歩、67玉、
68歩、77玉、69桂、88玉、
98飛、同玉、97金、同玉、
99香、98飛、同香、同玉、
96飛、97金、同飛、88玉、
98金 まで 41手

かしこ以外では初の7種合です。

まず、歩香桂の3連合を軸につくり始めました。桂馬は2段目には合駒できないのと、歩は同じ筋には合駒できないの枷を使って歩香桂の合駒の順を限定してみました。(56歩と75歩がその限定の駒です。)

次に飛や金といった駒は強大なので、

最後に登場させることとし収束をつくりました。84飛87桂95歩75歩といった配置がポイントです。

最後に序の部分をつくりました。銀合がなかなかできずに苦戦しました。わたしは詰将棋の作り初めのときは、銀を使うのが得意ではなかったようです。(このごろは、そうでもありませんが。)特にばか詰系の場合、歩や桂馬(いちばん使いやすい)や香車と角が使いやすく、銀がいちばん使いにくい感じがします。

さて。

f mでの検討はできなかったので、余詰が発生してサロンで修正しました。

サロンでの修正ついでに、普通詰の順列7種合を取り出しておきます。現時点での順列7種合では最短のはずです。<注2>

[3-3b]

1980年5月 デパート

小林看空「天使」

1996年10月 読者サロンで修正

普通詰 37手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | 金 | | 馬 | | | | |
| | | | | | | | 香 | 金 | | |
| | | | | | | 蹠 | 桂 | 歩 | | |
| | | | | | | 蹠 | 桂 | 歩 | | |
| | | 銀 | 銀 | | | | | | 歩 | |
| | 香 | 香 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 桂 | 飛 | | |
| | | 王 | 杏 | 圭 | 全 | 金 | 馬 | | | |
| | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | | |
| 龍 | | | | | | | | | | |

持駒 なし

【3-4】

1976年8月 カピタン2号

小林博

衝立詰 15手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 王 | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

持駒 飛2 金2 銀2

23飛、(-) 22金(×) 31金、(同)
 42銀、(同) 43金、(-)
 41飛、(-) 52金、(同)
 43飛右成、(-) 73銀 まで 15手

カピタンの出発点は衝立詰でした。記念すべき第1号の第1ページは衝立将棋の指方! でしたし、第1号2号4号の詰将棋コーナーはすべて衝立詰でした。

衝立将棋は若島さんがチェスから持ち込んだと記憶しています。確か関西の奨励会でも指されていたんじゃないかな。

チョンボは8回までといったルールも実戦の中から固まっていったもの。

さて、作品の解説。

何とか裸玉をつくろうと思いつき、当初は11玉で持駒も飛飛金金金銀、あるいは飛飛金銀銀銀だったと記憶していますが、それは余詰などがあり、加藤徹氏のアドバイスで飛飛金金銀銀に決定、その後21玉でも同一手順が成立するというこ

注2 : ayu 氏 (2002年1月、おもちゃ箱) に25手の改良案あり。

とで発表図になったわけです。

まあ、持駒も整って、幸運が重なったわけです。

合駒の種類が最後まで判らない(ただし、飛車ではない)というのも衝立詰ならではと思っています。

衝立将棋のルールは普通の将棋と同じです。しかし、相手の指し手はわかりません。

審判がいて、次のことを1手指すごとに対局者へ教えてくれます。

()内は審判の行為

- a. 自分の手番
- b. 相手の手番
 - 1a. 相手の駒を取った場合
(取った駒を渡してくれる)
 - 1b. 自分の駒が取られた場合
(盤上から取られた駒がなくなる)
 - 2a. 王手をかけた場合
(王手です) という声が聞こえる
 - 2b. 王手をかけられた場合
(王手です) といわれる
 - 3a. 指し手が反則の場合
(チョンボ 回です) といわれる
チョンボ9回の場合は反則負け
 - 3b. 指し手が反則の場合
(チョンボ 回です) という声が聞こえる、チョンボ9回の場合は反則勝ち
 - 4a. 詰めた場合
(詰みです) という声が聞こえる
 - 4b. 詰められた場合
(詰みです) といわれる

上記以外は審判は相手に指したことを告げ、指し手をうながします。

反則は1局に8回許されますが、9回反則をしてしまいますと、チョンボ負け(反則負け)となります。

注：反則=チョンボ、の指し手は次のような場合です。

- (1) 王手がかかっているが、解消できない場合。
- (2) 自分の王を王手にさらす場合。
- (3) 相手の駒の上に駒を打つ場合。
- (4) 相手の駒を飛び越える場合。
- (5) 打歩詰の場合。

など。

衝立詰将棋は文字通り衝立将棋の詰将棋ですが、初期局面はわかっているとして進めます。(ここが実戦とは違う点です。)3手目の22金のようにわざとチョンボしてみるのもテクニックのひとつです。

【3-5】

1999年12月 第12回神無一族の氾濫
神無三郎「飛行船」

ばか詰 77手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 角 | 𨔵 | 𨔵 | 一 |
| | | | | | | | | 遊 | | 二 |
| 𨔵 | | | | | | | 王 | 𨔵 | 𨔵 | 三 |
| 王 | | | | | | | | | | 四 |
| 桂 | 香 | | | | | | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | 五 |
| | 香 | 𨔵 | | 金 | 香 | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | | 六 |
| 桂 | 步 | 𨔵 | 𨔵 | 桂 | 步 | 步 | 步 | | | 七 |
| 𨔵 | 𨔵 | | | | | | | | 飛 | 八 |
| | | | | | | | | | 歩 | 九 |

持駒 なし

14飛、24歩、同飛、34歩、
同飛、44歩、同飛、54歩、
同飛、64歩、同飛、74歩、
同飛、84歩、同飛、95玉、
96歩、同玉、94飛、95桂、
同飛、87玉、99桂、78玉、
79歩、68玉、69歩、58玉、
59歩、47玉、48歩、37玉、
38歩、27玉、28歩、17玉、
18歩、16玉、17歩、15玉、
16歩、14玉、94飛、84歩、
同飛、74歩、同飛、64歩、
同飛、54歩、同飛、44歩、
同飛、34歩、同飛、24歩、
15歩、同玉、16歩、同玉、
17歩、同玉、18歩、28玉、
29歩、38玉、39歩、48玉、
49歩、47玉、48歩、56玉、
54飛、55金、同飛、66玉、
65金 まで 77手

一族の世紀末作戦のひとつに、小林看空詰パラ復活作戦というものがありません。

太郎さんによれば小林看空の詰パラの登場回数はすでに90回は超えていて、何とか100回に到達してフェアリー同人に仕立てるという構想でありました。

で、当然投稿する作品がないと困るので、こつこつと駄作を作り出したのでした。

最初の作戦では、ばか千日手や先手取禁ばか詰が候補でいろいろと作ったのですが、そのうちに新テーマで何か作りたくなって、7連合をばか詰で実現できたらと考え至りました。さすがに縦横斜めと簡単に出来ました。最初は投稿するにはこんなものでもいいだろうと思っていたのですが、そのうちに欲が出て、ダブル7連合といったものはできないかな、と考えました。しかし単なる7連合は最後の合駒を取って同Xとすればいいのに対して、ダブル7連合は玉方で同Xというわけにはいきません。つまり合駒を要求した駒を同Xと取られ、2回目にはその駒を合駒されて簡単に詰んでしまうのです。これには参りました。一見不可能です、これは。

そのうちに縦横斜めとつくったうちの一局に香車を使って成らずと入り手を繋げる可能性を見出したのでした。2回目に7連合を要求する駒の可能性としては飛車しかなく、それも龍で敵陣からです。結局1回目は1筋で香車による7連合、2回目は9筋で龍による7連合となったわけですが、9筋で最後の駒を取ったあと99に歩を打って追っていくわけですが、9筋には駒を置かず、何度不可能じゃないかなと思ったことでしょうか。ようやく、83と63に桂を配置できて何とか解決、不可能ではないことが証明されたわけで、これが大きな一歩でした。

こういった創作はfmはほとんど検討役で、いくつもの可能性のある図を何百何千図と検討するわけにはいかず、茨の道なのです。

この作が「真夏の夜の夢」でダブル7連合の1号局となりました。

少し気分を替えて、いつもの「- - 姫」といった命名ではなく、真夏の暑いときに出来た夢の作ということで名づけたのです。

12月号の氾濫の出題なのに、「真夏」ではミスマッチなのでは、と七郎さんに言われましたが、そういった事情なのです。

さて、一旦不可能が可能になると事情と言いますか、心の持ちようが変化してきます。太郎さんが「真夏の夜の夢」の後を受けて、Kマドラシバか自殺詰でダブル7連合の可能性を探った図を提示されました。この作品は惜しくもダブル7連合にはならなかったのですが、龍と飛車が上からと横から王手するものでした。

この図からピンとくるものがあって、もしかしたらダブル7連合は飛車の横利きを利用したらうまくいくのではないか、と思いさっそく創作に取り掛かりました。玉を9筋に置いて、1筋から飛車の王手、そして玉は八段目を横這いして、1筋に至り、また9筋から飛車の王手というストーリーを仕立てました。そのとき、もしかしたら、一回使った飛車をもう一回使えるのではないかという虫のいい考え方をしたところこれがまたうまく行きました。どうやら虫のいい手順を思いつくのが創作の秘訣のようです。9筋で桂合を絡ませて飛車筋をずらしたり、王の配置、31角の配置はテクニックとして、一番苦労したのは、五段目～七段目の配置で、収束と併せて56金と57桂の宙ぶらりんの配置で何とか作品にできたのでした。創作時間としてはほぼ1日と極めて短いものでしたが、集中できたのと、これまでの経

験がものをいったのでした。

何事も経験ですかね。

命名は最初「熱気球」としましたが、飛車の動きが主体なので「飛行船」に変更、加えて、飛車の動きを印象づけるため、18飛車を配置して決定図としました。

後は角によるダブル7連合が課題ですが、かしこ詰における7連合が未だない<注3>ように不可能に近いのかな、と思いつつ。。

さて、復活作戦はどうなったかといえ、好作をつくってしまったので、現時点では何も投稿していないのです。

[3 - 5b]

1999年12月 第12回神無一族の氾濫
神無三郎「真夏の夜の夢」

ばか詰 89手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | 龍 | 金 | | | 馬 | 皇 | | 王 | |
| 二 | | | 銀 | 歩 | 歩 | | 歩 | 皇 | | |
| 三 | | 桂 | 歩 | 桂 | | | 蹠 | | 歩 | |
| 四 | | | | | | 歩 | | 桂 | | |
| 五 | | 歩 | | | 蹠 | 馬 | | 王 | | |
| 六 | | | | | 蹠 | | | 銀 | | |
| 七 | | 桂 | 蹠 | | 蹠 | | | 歩 | | |
| 八 | | 蹠 | 歩 | | | | 香 | | | |
| 九 | | | 歩 | 歩 | | | と | | | |

持駒 香

注3 : OT松田氏(1983年12月、近代将棋)、駒場和男氏(1990年10月、近代将棋)に事例があるが、いずれも不完全。

【3-6】

1981年4月 カピタン23号
小林看空

ばか自殺詰 6手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | と | | 二 |
| | | | | | | 王 | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 龍 | 四 |
| | | | | | | | | 王 | | 五 |
| | | | | 馬 | | | | 銀 | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛角

23と、同角、11角、22香、
36飛、34角 まで 6手

発想の出発点は最後の2手であって、そこからの逆算が全てです。

11角打が限定である以上、玉、王、銀の配置は必然自然、また香合を限定にするためにもう一枚の飛（一枚は持駒！）をどこかに配置しておく必要がありました。で、14龍の配置は必然。4手では面白くないので、22と 23と同角の逆算を試みました。22との配置は他の配置では11角からの余詰があるのでこれもまた必然。

当初の角の配置は45角で加藤徹氏につぶされて56角の修正となり、これも必然。必然がいくつも重なって決定図となりました。

飛角が手駒にあるのに初手からの駒捨て（と金なのですが）は指しにくかったようです。また両王手をにらんだ最終2手も指し難く、難解作に仕上がったよう

です。無駄な配置もなく、余詰もなく、今思えばうまくいったものです。

おまけとして、同号に載った手数手順探しの問題を2つ示しておきます。それぞれ1ヶ所小キズがあります。これを解くには手の方が断然早い！

[3-6b][3-6c]

1981年4月 カピタン23号
小林看空出題

ばか自殺詰 36手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | マ | 王 | 二 |
| | | | | | | | | | マ | 三 |
| | | | | | | | 王 | | マ | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩

ばか自殺詰 30手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 王 | 二 |
| | | | | | | | | 銀 | | 三 |
| | | | | | | | | 王 | 銀 | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩2

【3-7】

1986年9月 カピタン34号
小林看空

クイーンばか詰 7手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 香 | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 銀 | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 銀 香

36銀、24Q、26香、25飛、
同銀、15Q、16飛 まで 7手

この当時何作もクイーンばか詰をつくりました。どうも自分は同じテーマをいくつか試みないと気が済まないようです。

結婚したばかりの正月、かみさんの家に行き、お屠蘇などを飲みながら、紙と鉛筆と消しゴムを持ってひたすらクイーンばか詰をつくっていて、かみさんの父親に呆れられました。

クイーンばか詰はクイーンが強いので、なかなか余詰ができません。構想さえしっかりしておれば、意外と作り易い気がします。

この作品以外にも取り上げたい作品が多々あるのですが、王がある作品はf mのチェックが入っていないので、今回はこの作品にしています。

テーマは王手をかけている駒ではなく、他の駒で合駒を取るといった単純なもの。

しかし、盤上の駒が2枚とシンプルな上に、初手から銀を打って舞台からまず作らなくてはならないのでやりづらかったようです。香車の限定打に飛車合が綺麗に入り、まずは満足です。ただ、クイーンの動きが少し地味なので、派手な動きを期待された人には肩透かしだったかな。

口直しにクイーンが飛び回る作品を掲げておきますので、お楽しみください。

[3-7b]

1986年9月 カピタン34号
小林看空

クイーンばか詰 7手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 金2 歩2

【3-8】

1995年6月 第3回神無一族の氾濫
小林看空「白雪姫」

打歩ばか詰 33手

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|
| | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 角 | 二 |
| | | | | | | 歩 | | 皇 | | | 三 |
| | | | 銀 | | | 歩 | | | | | 四 |
| | | 王 | | 香 | 皇 | | | | | | 五 |
| | | | 金 | 角 | 王 | | | 桂 | | | 六 |
| | | | | | | | 歩 | 桂 | | | 七 |
| | | | | 歩 | | | | 金 | | | 八 |
| | | | 龍 | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

49龍、48香、同龍、47金、
57龍、同金、49香、48飛、
同香、47桂、同香、同金、
38桂、同桂成、16飛、26銀、
同飛、同香、35銀、同歩、
45角引成、同金、55銀、同金、
44飛、45角、同飛、同金、
79角、68歩、同角、57金、
47歩 まで 33手

ホラータッチで書いてみます。。

「白雪姫」にはひとつの恐ろしい伝説
があります。

それは、この作品を載せたミニコミ誌
は、解答発表号を待たずして眠ってしま
うという編集者にとって実に実に恐ろし
い伝説なのです。あたかもグリム童話に
おける毒の林檎のような作品なのです。

その犠牲になったミニコミ誌を主宰さ
れていたのが、右京さん（将棋パズル）
と六郎さん（将）だったのは更に心の痛

む思いです。

第3回目に載ったのが0FM。当時主宰さ
れていた太郎さんはわざわざ掲載する前
号（0FM023）で「白雪姫」を載せる予告
のお祓いをしてこの呪いを封じ込めたも
のでした。

第4回目は詰パラ。この時は太郎さんが
不要な駒2枚を発見され、少しスリムにな
った「白雪姫」として登場して、つつが
なきを得ています。

さて第5回目。もしかしたら、その呪い
が復活し、襲いかかるのは、これを読ん
でいるあなた自身かもしれません。。

伝説はともあれ、三郎にとって第3作目
にあたる7種合でした。

- 第1作 かしこ詰「天使」
- 第2作 ばか詰「橋姫」
- 第3作 打歩ばか詰「白雪姫」 本作
- 第4作 ばか自殺詰「不思議姫」
- 第5作 ばか自殺詰「謎姫」

7種合作は余詰修正などそれぞれ数奇
な運命をたどっております。

最初の発表図がそのまま、というのは
今の所「不思議姫」と「謎姫」だけです。

もっとも、「謎姫」は「不思議姫」が進
化した図なので、実質的には「謎姫」の
みです。

発想の原点は序の4種合です。ちょっと
形を変えれば5種合は簡単に実現できる。
これは打歩ばか系に特有の感覚ではない
でしょうか。歩を入手するには角の入手
が絶対なのですが、その前にもう一仕事
しておく必要があります。即ち銀合の出
現で、創作的に言えば、銀と角との合駒
の区別に苦労することになります。「白
雪姫」においては角を相手側に渡す時期
を銀の入手のあとに設定することで解決
しました。55銀とする時期を限定するた

めに75王と45飛の配置は心苦しい限りですが、打歩ばか詰ではしばしば出現する、玉が動けないという自由度の少ない開放的密室型なので仕方ないところです。

7種合を終えた後の32手目は金の移動合なので、統一を欠いたイメージですが、おまけか夾雑物ということで、打歩ルール自体にはかかってこないと思います。

打歩ばか詰は将棋パズルで発生したルールで、最初パラには遠慮して投稿しませんでした。最終手が打歩詰指定ですので、かなり思い切ったことができます。

さて、次図はやさしい打歩ばか詰ですので、詰めてみてください。

[3-8b]

1999年6月 第11回神無一族の氾濫
神無三郎「青姫」

打歩ばか詰 51手

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛2 角

【3-9】

1986年11月 フェアリーランド
小林看空「風の砦」

ばか自殺詰 60手

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | | 九 |

持駒 金 歩2

24と、同玉、34金、同玉、
35歩、24玉、23と、同玉、
13香成、同玉、14歩、23玉、
13歩成、24玉、23と、14玉、
24と、同玉、25歩、23玉、
24歩、13玉、23歩成、14玉、
13と、同玉、25桂、23玉、
33桂成、同玉、34歩、23玉、
26香、25香、同香、24金、
33歩成、13玉、23と、14玉、
15歩、同金、13と、同玉、
23香成、同玉、26香、25香、
同香、24桂、同香、33玉、
35香、34桂、23香成、同玉、
24歩、14玉、26桂、同金 まで 60手

密室の玉を追い回すばか自殺詰を作りたくてこね回したのがこの作品です。今でこそ、太郎さんの170手の傑作がありますが、当時は20手越えでさえ希でした。

「風の砦」の命名は岡谷市（実家のあ

る)の原頭と山中につくられた「やまびこ公園」内にある砦から。当時は命名してありませんでした。

ちょうど30手目で前半と後半に分かれます。つくり方も前半と後半に分けてつくりました。壁をつくるための飛角、特に桂香がぜんぜん足りなくて困りました。54角45歩といった配置が苦心の跡。

f mの検討の結果、完全であることが確認(速いパソコンならば数分!)されたこともあって、ひとつのマイルストーンとしてここに掲げます。

もうひとつのマイルストーンは、箱男名義の前衛賞授賞の作。成生の非限定がありますので、作品集には採りませんでした。ともあれ、当時は大らかでした。

[3-9b]

1984年6月 フェアリーランド
箱男
第11回前衛賞短編賞受賞

ばか自殺詰 18手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| | | | | | | | | | 一 | |
| | | | | | | | 金 | 金 | 金 | 二 |
| | | | | | | | 銀 | 桂 | 銀 | 三 |
| | | | | | | | | | 王 | 四 |
| | | | | 馬 | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | | | | 桂 | 桂 | 七 |
| | | | | 金 | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛

【3-10】

1995年6月 第3回神無一族の氾濫
神無三郎「時姫」

ばか詰 29手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| | | | | | | | | | 一 | |
| | | | | | | | | | 二 | |
| | | | | | | | | | 三 | |
| | | | | | | | | | 四 | |
| | | 遊 | 歩 | 王 | 金 | 金 | 金 | 爵 | 爵 | 五 |
| | | 金 | | | | 香 | 歩 | 爵 | 角 | 六 |
| | | 皇 | 馬 | 爵 | | | 皇 | | 科 | 七 |
| | | | | | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 八 |
| | | | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 飛 桂

59飛、49歩成、同飛、39香成、
同飛、29桂成、同飛、同玉、
38角、同玉、39香、47玉、
48歩、57玉、56金、同銀成、
49桂、67玉、68歩、同角成、
59桂、77玉、87金、同飛成、
78香、同馬、同歩、同龍、
86角 まで 29手

ばか系においては、玉方の妙手は不成ではなく、成である、という名言があります。では、ばか詰で玉方の6種成を何とか実現してみようということ、まずは飛車と角の成を中心につくりはじめました。収束ができたとき何とかモノになるのではないかと思い始めましたが、それからがイバラの道。順列にこだわらなければすぐに何とかなったかもしれませんが、当時はf mは存在してなく、何度も何度も花沢先生とハガキのやり取りをしたものの、余詰の嵐。修正不能で御蔵入

りしていました。

f mの出現とともにようやくまた取り組む気持ちが起こり、65王を配置して不満ながら何とか銀成を限定して順列6種成「時姫」を仕上げました。f mがなければ到底つくりあげることができなかつたでしょう。

OFM029に載ったときは31手だったのですが、太郎さんのアドバイスにより2手短くなりました。

花沢先生、太郎さん、そしてf m開発者の次郎さんに感謝感謝です。

どうもわたしは、条件作が好きなようです。参考作品は、周辺巡り2回転の条件作。難易は二の次です。

[3 -10b]

2000年6月 第13回神無一族の氾濫
神無三郎「かごめかごめ」

ばか詰 145手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | 金 | 歩 | | と | 馬 | | | | |
| 王 | 歩 | 銀 | 歩 | 歩 | | と | と | | | |
| 歩 | 歩 | 銀 | 歩 | | | 王 | | 歩 | | |
| | 歩 | | | | | | | | | |
| | 歩 | 銀 | 銀 | | | | | 歩 | 桂 | |
| 金 | 香 | 銀 | 銀 | | | 銀 | | | | |
| | 香 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 香 | | | |
| | | | | | | | | | | |

持駒 金 香 歩

【3 -11】

1997年12月 第8回神無一族の氾濫
神無三郎

背面キルケばか自殺詰 4手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

持駒 角 金

75角、76香、87金、88角 まで 4手

まず当時(OFM047 -11)の解説をそのまま掲げておきます。

興奮がそのまま伝わってくるでしょう。

神無三郎

背面キルケばか自殺詰4手のベスト。

本作を見つけた瞬間は何が何だか分からなかったが、分析するに従っておこり病のように、本作のすばらしさが伝わってきてがたがたと震えた。

どうか、自分自身で分析して本作のすばらしさを味わってほしい。

98王が99ならば043 -2に還元して持駒金1枚で済むのだが。。

本作は4手ながら詰めあがりに向けて複雑な手順を採る。

初手は斜め背後から角の直打ちからはじまる。

2手目は逆王手の香車打ち。(なぜ香車

なのか最終手を分析しないと分からない。))

3手目も逆王手の金打ち。

そして狙いすました、最終手の角打ち。

王で取れば043 2と同じ「ゴースト」の狙いだが、本作の恐ろしいのはその先にある。

この角打ちの王手を外すにはもうひとつの道がある。

それは、87の金を角の機能を利用して(背面ルールである。)どこかにとばすのだ。左対角線の動きは76の香車がピンしているのがダメなので結局76金と香車を取るしか手段がないことを確認していただきたい。しかし、この手も王手解除にならないのだ！その瞬間香車が91の地点に復活して(変形「転生返し」)98の王を抜かれてしまうのだ！

つまるところ王手を解除する手段がないので「詰め上がり」である。

戻って初手の角打ちがこれ以上遠いと76金が成立して詰みとはいえなくなる。角の短打は無理矢理香車を金に取らせる意味だったのであり、2手目は香車打ちでなければならなかったのである。

加えて本作は「いちょう返し」でもあり、「ゴースト」「転生返し」もそろった傑作であることは間違いない。

さて、用語解説。

「いちょう返し」とは、逆王手返しのこと。白土三平氏の忍者漫画から引用しました。すでに「謎姫」などで有名ですね。

「ゴースト」はいわゆる「影の足」で、キルケで元の位置に戻ることで紐がついていることです。この場合は98王で88角を取ろうとしても、取った瞬間キルケルールで角が22に戻るため、結局は王で取れない状態です。

「転生(てんしょう)返し」とは87金で76香車を取ろうとすると、取った瞬間香車が91に復活して王手となり、結局は取れない状態です。

フェアリーもチェスのように手筋の命名が欲しいですね。

理論を発見したらまず命名せよ、と人はいっております。

これからが真の解説。

f mが本格的になって、パソコンの解析速度も速くなってきて、双裸玉の全検が現実になってきつつあったあるとき、七郎さんから対面キルケばか自殺詰4手および背面キルケばか自殺詰4手の全検の提案がありました。

それまでは、おいしそうなところをばつりばつりと摘まんでいましたが、自分の遅いパソコンでも4手なら何とか全検できそうでしたので、さっそくパソコンにかけてみました。全検なので持駒1枚ではなく、持駒2枚まで、また盤面の王と玉の配置も、キルケなので飛角の復活の位置が違うということで、対称の位置関係のものも全て検討したので、30万通り位の数字になったと記憶します。しかし、さすがパソコン、思いの外短時間で全検ができましたが、そのあとが大変。完全作を一作ずつノートに書き写し、分析に取り掛かりました。ただ分析するだけでは面白くないので、いろいろの手筋を抽出命名しながらコメントを書きつつ 0FM に投稿したのです。

その中でのピカールの一局がこの局で、たった4手なのに分析すればするほど味わい深い局でこの一局を発掘しただけでも全検した価値はあると思います。

双裸玉は持駒1枚の場合の全検が進んでおりますが、完全作は少ないにしても2枚や3枚(それ以上)でも逆にそのような

ものは、結構深みのある局が得られるように思えます
 今後の研究が楽しみです。

キルケルールはそれ自体左右対称でない(大駒の復活する場所が限定されているので)という面白い特性を持っていますが、他のルールと組み合わせることによって、更に面白くなります。

マドラシルールと安南ルールを組み合わせた例を示しておきます。

[3-11b]
 1994年9月 Online Fairy Mate 031号
 神無三郎

マドラシキルケばか自殺詰 6手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 王 | | | | | | | | | | 一 |
| 歩 | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 飛角

[3-11c]
 1994年9月 Online Fairy Mate 031号
 神無三郎

安南キルケばか自殺詰 6手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 王 | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 王 | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 香

【3-12】

1997年8月 Online Fairy Mate 107号
小林看空

ばか自殺詰 8手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 炮 香 歩

28歩、18玉、98炮、38飛、
27歩、32飛成、28香、88角 まで8手

炮 = パオ

動くときは飛車と同じ。駒を取るときは必ず一つ駒を飛び越えて取る。

飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。グラスホッパーと違って、着地場所は飛び越えた駒の隣でなくてもよい。

成ることはできない。特に記述しない限り受方の持駒に炮はない。

炮という魅力的な駒に取り組んだときのひとつの成果です。

このとき、将棋パズル(田宮克哉さんが主宰されていて、その後右京さんが引き継がれていたミニコミ誌 - 現在休眠中)に「看空館~ 炮のある風景」として十局近くいっぺんに掲載された生き残りの1局です。(殆んどがつぶれた! - もう1局生き残った作は、1×9盤で詰方12歩、受方15炮、持駒香の打歩ばか炮詰11手です。右京> 盤面をフルに使った好局です

ので挑戦してみてください。)

余詰が今まだ発見されていないのですが、f mによる全検はされていないので十分その恐れはあります。

炮は中国将棋の駒のひとつで、動き方と取り方が一致しないという面白い駒で、しかも強力な駒です。

大学のときに留学生と中国将棋を指していて、一発で詰まされたのがこの駒でした。

「炮のある風景」というタイトルは、コロomboの「祝砲の挽歌」からイメージを拝借してみました。

さて。

作意は、38飛の発生~32飛成という炮の利きはずしを軸に構成してみました。27玉は絶対の配置で、六段目より上だと炮の打ち場所が非限定になってしまうし、八九段目ですと角の発生ができないのです。歩の王手に続いて打った歩を影にした炮の王手 飛車の発生 歩を突き出して今度は飛車を影にした炮の王手 王を縛る飛車成 そして狙い澄ました香車打(香車を影にした炮の王手) 角打によるブロックと詰め上がり。

香車の打つ位置は他の打ち場所ですと香車が最終手に対して移動できるので限定です。

炮がテーマで、しかも盤面を大きく使っていて気持ちがいいと自負しております。何局もつくってみるとだんだんとテーマに馴染んだ手順構想が湧いて来るようです。一発でテーマに合った局をつくれる天才もいますが、われわれ凡人群では、何度も何度も同じテーマを繰り返し繰り返し取り組んでいるうちに育まれるものと思います。

【3-13】

1988年5月 カピタン39号
小林看空

1/2手詰

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 科 | | 一 |
| | | | | | | | | 王 | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | 角 | | 王 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

この作品はユーモアとエスプリを楽しむ作品なので、解答は省略させていただきます。お楽しみください。

発端は、文芸雑誌「すばる」1984.09号に載った柳瀬尚紀さんの次の作品。

柳瀬さんは、タイム誌で1900年代でベストとされる Ulysses の作者 James Joyce の 翻 訳 不 能 と され た 作 品 Finnegans Wake を 訳 され て 話 題 に な り ま した。

[3-13b]

1984年9月 すばる
柳瀬尚紀

0手詰

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | と | | 全 | 皇 | | 王 | | | 一 |
| 龍 | | | | 科 | | 王 | 皇 | 龍 | 二 |
| | と | | 皇 | 皇 | 皇 | | 皇 | | 三 |
| | | 皇 | 皇 | | | 皇 | 科 | 王 | 四 |
| 皇 | | 歩 | | 歩 | 歩 | | | 皇 | 五 |
| | | | 歩 | | 王 | 皇 | | | 六 |
| 歩 | | | | | | 桂 | | 歩 | 七 |
| 角 | | | | | 王 | 皇 | | 金 | 八 |
| 香 | 王 | | | | | 王 | | 香 | 九 |

持駒 なし

チェスでは、サムロイドの作品に1/2手詰というのがありまして、それはキャスリングとアン・パッサンが絡んでいるのですが、0手詰というのは、有り得ない、反則負けだのわいわいがやがや。

一応自作はフェアプレイのつもりです。

また、それに続く作品群のうち傑作と思われる4作を示しておきます。

これらも解答はつけておきません。

どうしても解らない方はカピタンのバックナンバーを捜していただくか、わたしにお問い合わせ願います。ただし柳瀬さんの作品に限っては、わたしも作意は知っておりませんので、問い合わせされても応じかねますが。

ヒントはどうやら先手持駒なし後手持駒桂にあるらしいのですが。

[3 -13c]

1988年5月 カピタン39号

花沢正純

1 / 6 手詰

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | 角 | 飛 | | 八 |
| | | | | | 王 | | | | 九 |

持駒 なし

[3 -13e]

1988年5月 カピタン39号

小林看空

1 / 2 手詰

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 王 | 王 | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 王 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | 王 | 王 | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

[3 -13d]

1989年7月 カピタン40号

山本昭一

1 手詰

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 王 | 王 | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | 角 | | 四 |
| | | | | | | | 香 | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

[3 -13f]

1989年7月 カピタン40号

若島正

0 手詰

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 王 | 王 | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 馬 | | | 三 |
| | | | | | | | 角 | | 四 |
| | | | | | | | 香 | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

神無七郎自選フェアリー詰将棋集

A RAINBOW IN CURVED AIR

神 無 七 郎

【7-1】

1983年3月 フェアリーランド
橋本孝治
第10回前衛賞長編賞

天竺詰 147手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | 圭 | | | | 圭 | マ | マ | 圭 | 一 |
| | | マ | マ | 圭 | | | 全 | 全 | | 二 |
| | | 全 | 全 | | | | マ | マ | マ | 三 |
| | | マ | マ | マ | | | | 杏 | | 四 |
| | | マ | と | 早 | | 杏 | マ | マ | マ | 五 |
| | | マ | 隼 | | と | | | | | 六 |
| | | | 馬 | と | | | | | 早 | 七 |
| | | 金 | マ | 金 | | 隼 | | | | 八 |
| | | 馬 | 金 | | 王 | | | | | 九 |

持駒 なし

79金引、同金、同金、同玉、
78金、同龍、同馬、同玉、
88飛、79玉、89飛、同龍、
同馬、同玉、99飛、86玉、
76と引、同と、同と寄、同杏、
同と、同玉、77歩、同玉、
88金、67玉、78金、57玉、
68金、47玉、58金、37玉、
48金、27玉、38金、26玉、
27香、同杏、25杏、同玉、
35杏、同玉、36歩、同玉、
27金、46玉、37金、56玉、
47金、66玉、57金、76玉、
67金、86玉、77金、85玉、
86歩、同と、84全、同玉、
74全、同玉、75歩、同玉、
86金、65玉、76金、55玉、
66金、45玉、56金、35玉、
46金、25玉、36金、24玉、
25歩、同と、23全、同玉、

33全、同玉、34歩、同玉、
25金、44玉、35金、54玉、
45金、64玉、55金、74玉、
65金、84玉、75金、83玉、
84歩、同と、82圭、同玉、
72圭、同玉、73歩、同玉、
84金、63玉、74金、53玉、
64金、43玉、54金、33玉、
44金、23玉、34金、22玉、
23歩、同と、21圭、同玉、
31圭、同玉、32歩、同玉、
23金、42玉、33金、52玉、
43金、62玉、53金、72玉、
63金、82玉、73金、同玉、
74歩、同玉、75歩、同玉、
76歩、同玉、77歩、同玉、
78歩、同玉、79香 まで 147手

全成駒の天竺煙詰。手順は金による横追いの繰返し。杏、全、圭の配置順に必然性はなく、創作過程の名残が最終図に残ったもの。

この頃は左真樹氏が天竺詰の煙詰を連発していて、私もその作品群を見て、見よう見まねで天竺煙を作っていました。

この金追いの部分自体は既成手筋で、折返しの機構も左真樹氏作から直接着想を得たものです。ただ、それを徹底的に繰返し、その機構のみで煙詰に仕上げるといふ工夫によって、前衛賞を受賞するという榮譽を戴くことになりました。自分にとっては大変幸運だった作品です。

ほとんどの駒が趣向部分で消えてくれたため、逆算部分はそれほど苦勞することなく出来あがりました。とは言っても、着想から完成までには約一月ほど掛かっています。まだ、この頃には煙詰の創作には慣れていなかったのです。還元玉にならないかとも考えたのですが、当時の創作力では無理だったようです。

作品発表時の解説（担当は小林看空氏

でした)では、山田修司氏の「死と乙女」に印象が似ているので、同じシューベルトの「魔王」と命名してはどうかという提案を受けましたが、結局命名しませんでした。仮に命名するなら「死と乙女」の旋律が変形されて出てくるジョージ・クラムの「BLACK ANGELS」の方がふさわしいかもしれません。

なお、第1番から第4番までは神無を名乗る前の作品、すなわち本名の橋本孝治で作品を出していたときのものです。

七郎のフェアリーセレクション

f mを使うと、全検や自動逆算で、「作者のいない詰将棋」を作ることが出来ます。このセレクションではそうした自動創作の成果の中から、七郎の気に入った成果を一部紹介してみたいと思います。

まずは一族最初の大規模全検プロジェクトとなった「対面ばか自殺詰双裸玉持駒1枚」の成果からです。

対面ばか自殺詰 16手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | 王 | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| 王 | | | | | | | | | 九 |

持駒 金

98金、89玉、99金、98角、88金、99玉、98金、97角、88角、87金、97角、89玉、12角、23銀、88角、32金 まで 16手

持駒金1枚から信じられないような豪華絢爛たる手順が現れます。対面ルールの面白さが味わえる一局です。

【7-2】

1983年12月 フェアリーランド
橋本孝治

天竺詰 87手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | 皇 | 皇 | | | | | | | 一 |
| 飛 | 皇 | 龍 | | | 歩 | マ | | 王 | 二 |
| 歩 | 皇 | 桂 | | | マ | 桂 | 桂 | | 三 |
| と | マ | | 歩 | マ | | | | | 四 |
| と | マ | 歩 | マ | 歩 | | 金 | 桂 | | 五 |
| 銀 | マ | マ | 歩 | | 金 | | | | 六 |
| 歩 | 銀 | 歩 | | 金 | | | | | 七 |
| 馬 | 銀 | | 金 | | | | | | 八 |
| | 馬 | 銀 | | | | | | | 九 |

持駒 なし

11桂成、同玉、21桂成、同玉、71龍、同玉、81桂成、同玉、91飛生、同玉、92香、同杏、同歩、同玉、93香、同杏、同と、同玉、94香、同と、同と、同玉、95歩、同と、同銀、同玉、96歩、同と、同銀、同玉、97銀、同玉、88銀、86玉、77金、同と、同銀、75玉、66金、同と、同銀、64玉、55金、同と、同銀、53玉、44金、同と、同銀、42玉、33桂成、同と、同銀生、51玉、52歩、同玉、53歩、同玉、44銀生、62玉、63歩、同玉、64歩、同玉、55銀、73玉、74歩、同玉、75歩、同玉、66銀、84玉、85歩、同玉、86歩、同玉、77銀、95玉、96歩、同玉、97歩、同玉、98馬、同玉、

99香、同玉、88角 まで 87手

誌上で発表された順序はこの作の方が後ですが、創作の順序はこちらの方が先、というより（あらゆるルールで）自分にとっての煙詰の処女作がこれです。

先の成駒煙がアイデア一発で作品になったのとは違い、こちらではメインとなる収束の斜め往復趣向をもとに、地道に逆算して全駒煙に仕上げています。発表はしていませんが、この後もう1局天竺煙を作り、この分野からは撤退（？）しています。同じような作品ばかりになって、新しいアイデアが湧かなくなったのがその原因です。

その代わりと言ってはなんですが、関心は天竺煙から普通の詰将棋の煙詰に移っていきました。それが具体的に実を結んだのが、この作品です。

[7 -2b]

1985年5月 詰将棋パラダイス

橋本孝治

半期賞受賞作

普通詰 163手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | 銀 | 銀 | | | | | | と | 一 |
| と | と | | | と | と | 歩 | と | 歩 | 皇 | 二 |
| と | と | | | | | と | | | | 三 |
| と | と | | | | | | | 皇 | 香 | 四 |
| と | と | | | | | と | | | 金 | 五 |
| と | | | | 龍 | と | 金 | 金 | | | 六 |
| | 圭 | | | | と | 金 | 金 | と | | 七 |
| | | | | 圭 | と | | 歩 | 歩 | | 八 |
| | 王 | | 圭 | 香 | | 香 | | 皇 | | 九 |

持駒 なし

この作品では天竺煙での経験を生かし、いくつかの趣向を盛込んだ贅沢な手順の

煙詰を作ることに成功しています。私にとってフェアリーと普通詰将棋は不可分のものなのです。

七郎のフェアリーセレクション

で対面を紹介したので今度は、「背面ばか自殺詰双裸玉持駒1枚」の成果から選題しましょう。対面の方が一族の初期の頃から始まったプロジェクトで、次郎さんと七郎の共同作業で5年くらいかかったのに対し、背面の方は次郎さん単独で半年未満で終わってしまいました。

これは背面が対面に比べて結果的に易しかったこともあるでしょうが、対面の検討に掛かっていた5年の間にマシンの性能が10倍くらいに上がってしまったのが大きな要因でしょう。この分野での技術の進歩は驚くべきものです。

背面ばか自殺詰 8手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | 王 | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | 王 | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛

41飛、43角、同飛成、56玉、12角、23銀、52龍、53桂 まで 8手

初手に対する限定合と、詰んでいるのか一瞬ではわからないちょっと奇妙な詰上りが特徴の一局。最終形で22王とすると23の銀が玉の利きになり、王を取ってしまうのです。従って、最終手のあと22王とはできません。一族ではこれを「影の利き」と呼んでいますが、これが出てくると手順にもグッと高級感が出てきます。

【7-3】

1984年4月 フェアリーランド

橋本孝治

1998年10月 改作

ばか自殺詰 14手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | 王 | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | 王 | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 金 桂 香3

79香、67玉、69香、68飛、
同香、57玉、17飛、37飛、
69桂、46玉、49香、48角、
36金、同飛成 まで 14手

あるとき、双裸玉ば自を一度に7局投稿したことがあります。うち一局は小林看空氏の作品と衝突し、例題として発表され、のこり6局が懸賞出題されました。その中で最も評判が良かったのが、両王手の詰上りを狙いとした本局でした。尤も、他の5局は平凡な作品で、「完全作なのが取り柄」というだけのものでしたが...

この図は発表原図ではありません。原図は「36王+飛金桂香、67玉」の8手詰であり、ここに掲載の図は6手逆算してあります。当時はfmという強力なツールがなかったため、逆算など怖くてとてもできないのが実情でしたが、あの時代にfmがあったら、きっとここまで逆算して

いたでしょう。

この作の発表からもう15年が経過していますが、いまだに両王手の詰上りを主題とした双裸玉ば自は他にないようです。双裸玉ば自という条件作自体が、あまり希少価値がないためにあまり試みられていないこと、また対面等の組合せルールの開発が進んでしまったことがその要因かもしれません。

七郎のフェアリーセレクション

「対面ばか自殺詰双裸玉持駒1枚」のようなある分野を完全に覆ってしまうような大規模な全検の他に、ちょっとした思いつきで狭い範囲の全検を行うことがあります。

ここでは「安北ばか自殺詰双裸玉持駒2枚」の全検結果から一局紹介しましょう。

安北ばか自殺詰 24手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | 王 | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | 王 | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 桂2

27桂、44玉、53桂、45玉、44桂成、55玉、
43王、46玉、45圭、36玉、44王、25玉、
36圭、24玉、35桂、13玉、24圭、22玉、
23圭、31玉、43桂生、42玉、32圭、53玉
まで 24手

玉と王がよく動き回り、安北の面白さが良く出た一局です。この条件での最長手数には15王、95玉型の28手ですが、それよりもこちらの方がパズル的な味があります。

【74】

1986年8月 フェアリーランド
橋本孝治
第12回前衛賞短編賞

天竺ばか自殺詰 8手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | 王 | | | | | 三 |
| | | | | 桂 | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛角香

59角、48角、23飛、46玉、
68角、73玉、75香、同角生 まで 8手

最終形で玉方の角には紐が付いていませんが、これを同王で取ると、その瞬間、73玉が飛に化けて王を取ってしまいます。従ってこの角は取れず、この形で詰め上がりです。

こういうルールの特異性を利用した詰上りを「法則型」の詰上りと呼ぶのですが、「法則型」の詰上りを主題とした問題、いわゆる法則問題は、一発芸で終わってしまうことが多いものです。つまり、最初に出てきた時は確かに意表をついているのですが、作例が積み重なるに従って、当たり前になって、陳腐化するのも早いと言う宿命を持っています。

本作を作るときも当然その意識があったので、なんとか詰上りだけでなく、そこに至る手順にも工夫を加えようと頑張

りました。23飛の限定打もそうですし、26から46へ中途半端に飛ぶ玉の動きも、当然意識してそうしたものです。

当時はこういう変身物とば自を組合せたルールはそれほど作例がなかったせいか、解答者にとってはかなりの難解作だったようです。

本作は後にカピタン誌上で行われた前衛賞の投票で短編賞を取ることができました。私が長編以外で賞を取ったのは、今のところ本作だけです。

七郎のフェアリーセレクション

今まで双裸玉の全検物ばかりを紹介して来ましたが、ここで自動逆算の成果をひとつ紹介しましょう。題して「コンピュータが初めて作った煙詰」。1995年7月17日のことでした。

天竺ばか詰 35手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | と | | 一 |
| | | | | | | と | | と | 二 |
| | | | | | | と | | と | 三 |
| | | | | | | と | 歩 | と | 四 |
| | | | | | | と | と | | 五 |
| | | | | | | | と | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| と | と | | 歩 | 歩 | 歩 | | | | 八 |
| | と | | 王 | | | 歩 | | | 九 |

持駒 なし

79と、同玉、78と、同玉、88と、68玉、
78と、58玉、68と、48玉、58と、49玉、
48と、39玉、38と、同玉、37と、同玉、
36と、同玉、35と、同玉、34と、同玉、
33と、同玉、32と、同玉、31と、同玉、
21と、同玉、22と、同玉、23歩生 まで 35手

天竺ばか詰の無防備豆腐煙。飾り駒だらけで手順も単純ですが煙詰には違いありません。詰上りは七郎が与えたものです。

【7-5】

1993年9月 第1回神無一族の氾濫
神無七郎

対面ばか自殺詰 18手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 王 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | 王 | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂 歩4

15歩、同玉、27桂、26飛、
16歩、同玉、28桂、27飛打、
17歩、同玉、27桂、16玉、
28桂、同飛生、46飛、26角、
27歩、同飛成 まで 18手

私が神無一族に加入したのはこの前年のことでした。服部さんから電話でお誘いがあり、一族の会合へ参加。その場で加入を決めました。ちょうどこの頃は普通詰将棋の活動も停滞気味、パソコン通信なども始め、自分が変わる時期だったのかもしれない。

神無一族との出会いで特に刺激的だったのは、やはり f m でした。初めてこれに接したときは、単なるプログラムというより、「神の声を伝える道具」のように見えたものです。「お前は少し詰将棋ができるからといってイキがっているが、所詮はこの程度のものなのだ」というお告げを運んできてくれている感じがしました。

そして f m への関わりから、創作の内容も形態もそれ以前とは全然違うものになっていきました。

本作もそうした中から生まれてきた作品のひとつです。これ以前には、対面詰というのはほとんど手がけたことがなかったのですが、f m を相手に「対面ば自双裸玉マップ」を作りながら、対面の手筋を習得して行って、徐々に創作らしきものもできるようになっていきました。

この作品の場合、「手は続くがなかなか詰まない局面」を作り、配置や持駒を調整しながら完全作に近付ける方法で創作を行いました。ですから収束に両王手が出て、鮮やかに詰め上がったように見えるのは、計算の上でそうだったのではなく、実は偶然の所産です。

本作は記念すべき第1回の神無一族の氾濫に出題し、解答者からも上々の評判を得ました。作者自身も気に入っている作です。

【7-6】

1994年6月 第2回神無一族の氾濫
神無七郎

対面ばか詰 73手

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | 歩 | | 桂 | 王 | 二 |
| | | | | | | | | 王 | | 銀 | 三 |
| | | | | | | | | | 香 | | 四 |
| | | | | | | | 金 | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | | 八 |
| 銀 | | | | | | | | | | | 九 |
| | 馬 | | | | | | | | | | |

持駒 銀

- 99銀、 87馬、 88銀、 76馬、
- 77銀、 65馬、 66銀、 54馬、
- 55銀、 43馬、 44金、 54馬、
- 45金、 65馬、 66銀、 54馬、
- 55金、 65馬、 56金、 76馬、
- 77銀、 65馬、 66金、 76馬、
- 67金、 87馬、 88銀、 76馬、
- 77金、 87馬、 78金、 98馬、
- 99銀、 87馬、 88金、 98馬、
- 89金、 87馬、 88金、 98馬、
- 78金、 87馬、 88銀、 76馬、
- 77金、 87馬、 67金、 76馬、
- 77銀、 65馬、 66金、 76馬、
- 56金、 65馬、 66銀、 54馬、
- 55金、 65馬、 45金、 54馬、
- 55銀、 43馬、 44金、 54馬、
- 34金、 33桂、 22金、 21飛、
- 12金、 同玉、 22歩、 11玉、
- 12角 まで 73手

馬金銀の3者による複式金鋸。

フェアリーの趣向作と言うのは、得てして単純になり易い傾向があります。それは作る人間自体が、そのルールでどんなことが出来るのか、本当に分かってないためでもありますし、どの分野も大抵は未開発の状態なので、単純な趣向でも通用してしまうせいもあるでしょう。

本作は趣向の1サイクルをできるだけ複雑化することによって、単純な構造になるのを避けようとした作品です。手順構成は並べていただければ分かる通り、銀と馬の斜めの上下運動の間に金が絡んで鋸引を行っていき、89とを取って戻ってくると言う、一往復の趣向です。特徴としては、各王手が皆逆王手になっており、逆王手49回の記録を生んでいることが挙げられます。

この作品、実はf mの発展に大きく寄与した作品です。当時のf mでは本作のような長手数作品は検討できなかったのですが、この作品(の原図)を解くために検討した局面をメモリに保存するように次郎さんをお願いしてやって貰ったところ、効果が観面に現れ、驚くほど短時間で全検が終了しました。そこから長手数対応版のf mが現れたというわけです。

またこの作品、どういうわけか妖精賞の長編賞を受賞しています。

【7-7】

1994年12月 第3回神無一族の氾濫
神無七郎

キルケばか詰 109手

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|---|--|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | 王 | | | | | | 一 | | | | | | | | |
| 皇 | 歩 | 歩 | | | | | 歩 | 歩 | 歩 | | 二 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 王 | | | 三 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 歩 | 歩 | | | 四 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 五 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 歩 | | | 六 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 七 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 八 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 九 | | | | | | | | |

持駒 なし

33歩成、13玉、23と、14玉、
13と、15玉、14と、16玉、
15と、同玉/17歩、16歩、14玉、
「15歩、13玉、14歩、23玉、
13歩成、33玉、23と、34玉、
33と、35玉、34と、同金/37歩、
36歩、24玉、」
「25歩、...、34玉、」
「35歩、...、44玉、」
「45歩、...、54玉、」
「55歩、...、64玉、」
「65歩、...、74玉、」
75歩、73玉、74歩、83玉、
73歩成、93玉、83と、94玉、
93と、95玉、94と、同香/97歩、
96歩 まで 109手

キルケルールを活かした易しい送り趣向。最初のサイクルさえわかれば後は、自然に収束まで並べられる作品です。

私は新しいルールで趣向を作るとき、

まず送り趣向が出来るかどうかから考えていきます。どのようなルールでも送り趣向は趣向の基本だからです。送り趣向はその性質上、駒が多くなりがちですが、本作の場合は駒数も少なく、うまく出来たと思っています。

七郎のフェアリーセレクション

マシンの性能が上がるにつれ、全検の能力も上がってくるわけですが、それに比例して、全検する分野の難度も上がってきます。中には全検を始めたは良いが、途中でめちゃくちゃに時間の掛かる問題に遭遇して、全然進捗がなくなってしまう場合もあります。

「キルケばか自殺詰双裸玉持駒1枚」もそうした難しい分野のひとつ。ですが、王位置11については全検が終わっているので、その中から一局紹介します。

キルケばか自殺詰 12手

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | | | 王 | 一 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 二 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 三 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 四 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 五 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 六 | | | | | | | | |
| | | | | | | 王 | | | | | 七 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 八 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 九 | | | | | | | | |

持駒 角

14角、25飛、同角/82飛、36飛、同角、56玉、
51飛、65玉、54角、56玉、21角生、55角
まで 12手

なかなか良い作が採れなかったキルケの中では例外的な好局。特に最終形の取れそうで取れない角による詰上りはキルケのルールが生きていますし、それに至る手順に飛の限定打と角の不成が味を添えています。

【7-8】

1995年6月 第4回神無一族の氾濫
神無七郎

ばか自殺詰 20手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 香 歩4

19歩、28玉、29歩、38玉、
39歩、47玉、48歩、56玉、
59香、58角、同香、57飛、
38角、47飛打、57香、45玉、
15飛、35桂、27角、同飛成 まで 20手

ずばり、ば自双裸玉の最長手数を狙った作品。それまでの記録が12手だったので、大幅に記録を更新できたことになりました。

手順の中でポイントとなるのは8手目の48歩です。ここ、49香を先に打つと、どうしても20手では詰みません。早く合駒を入手をしたいところをぐっと堪えて、香打ちを後に回すことで、この収束に結びつけることが出来るのです。

もちろん、この作以外にも長手数に挑んだ作品はいくつかあるのですがそれらは玉を99辺りに置いて、呼出してくる型のものでした。結果的には玉と王が近いほうが長手数を実現できたわけで、これ

は意外なことでした。

その他に試したのは「36王+角、18玉」の形から出発して、後は持駒に桂馬を加えて完全作になるかどうかでした。もし完全作が存在していれば、おそらく最長不倒の記録が生まれていたと思いますが、残念ながら完全作は存在しませんでした。詰将棋とはうまくいかないものです。

七郎のフェアリーセレクション

同じようなルールでもちょっと条件が違うと、かなり異なった結果を得ることがあります。

例えば「マドラシ」の場合は、玉もマドラシの対象になるKマドラシと、玉は対象外のマドラシがありますが、ば自双裸玉にするならマドラシの方が面白い結果が得られます。

では、「マドラシばか自殺詰双裸玉持駒金」の中から一局紹介します。

マドラシばか自殺詰 22手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 金

27金、25玉、36金、46金、同王、37金、
同王、16玉、17金、同玉、28金、38金、
同王、29金、同王、16玉、17金、同玉、
27金、28金、16金打、27玉まで 22手

王が九段目まで降りる妙手順。余詰が発生しやすい詰上りですが、本局は例外でした。

【7-9】

1996年6月 第5回神無一族の氾濫
神無七郎/金四郎

駱駝王ばか詰 77手

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|---|---|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 歩 | | | | 六 |
| 歩 | | | | | | | | | | | 七 |
| | 金 | | | | | | | | | | 八 |
| | | 歩 | 駱 | | 歩 | 歩 | | | | | 九 |

持駒 なし

78金、86駱、77金、55駱、
66金、68駱、67金、75駱、
66金、44駱、55金、57駱、
56金、64駱、55金、95駱、
96歩、66駱、56金、35駱、
46金、64駱、55金、33駱、
34歩、46駱、45金、53駱、
44金、22駱、33歩成、35駱、
45金、64駱、55金、57駱、
56金、44駱、34と、13駱、
24と、44駱、55金、15駱、
25と、46駱、56金、75駱、
66金、44駱、35と、57駱、
67金、86駱、77金、57駱、
58歩、26駱、36と、55駱、
46と、68駱、78金、37駱、
47と、66駱、57と、97駱、
88金、68駱、67と、55駱、
66と、86駱、76と、79駱、
78金 まで 77手

正解者ゼロの問題作。使っている駒はわずか3種類 - 駱駝、金（と金）、歩。盤面の総枚数もわずか7枚です。それでもパラの解答者の誰も正解に到達することはできませんでした。作者の私ですら、こんな手順がどうして成立するか分からないのです。結局この作は人間の解図能力の限界を超えているのでしょう。

創作は詰上りからの自動逆算です。基本として「76と78と49歩、79駱」を決めておき、逆算がなるべく長く行えるように、まわりの配置を調整していきました。逆算途中には歩以外の駒は発生しないようにとの条件付きでの逆算です。

そしてその結果生まれたのがこの作品です。神無太郎氏が「詰上り位置指定」という条件下で、このような怪物的な難解作が存在することを発見していましたが、本作はそれをそのような条件なしで実現した作品です。

この作からはどうしても人間の限界と言うものを思い知らされます。詰将棋の世界は本当は人間の手に負えるほど甘いものではないのです。いや、人間+コンピュータの連合軍でもどうにもならない世界が広がっているのです。「機械を使っている人達は、詰将棋の世界の本当の奥深さを知っているのでしょうか？ 人間の手だけでどうになかるチマチマした世界で満足する気なのでしょうか？

我々はまだ詰将棋の深淵の入り口に立ったに過ぎません。その奥への道が開けていくのは、まだまだこれからの事なのです。

【7-10】

1996年12月 第6回神無一族の氾濫
神無七郎

ばか詰 125手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 龍 | と | 饅 | 王 | 皇 | 皇 | 皇 | 皇 | ヲ | |
| 二 | ヲ | ヲ | ヲ | ヲ | 罍 | 罍 | 罍 | 罍 | 歩 | |
| 三 | 罍 | 罍 | 罍 | 罍 | 罍 | 罍 | 罍 | 罍 | 罍 | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 なし

71と、同と、72銀、同玉、
82龍、61玉、71龍、同玉、
72歩、81玉、71歩成、82玉、
81と、72玉、82と、61玉、
72と、同と、62歩、71玉、
61歩成、81玉、71と、82玉、
72と、91玉、82と、同と、
92歩、81玉、91歩成、71玉、
81と、72玉、82と、61玉、
62歩、同金、72と、52玉、
62と、同玉、61金、52玉、
51金、62玉、61金、72玉、
71金、62玉、72金、51玉、
52香、同金、62金、42玉、
52金、同玉、51金、42玉、
41金、52玉、51金、62玉、
61金、52玉、62金、41玉、
42香、同金、52金、32玉、
42金、同玉、41金、32玉、
31金、42玉、41金、52玉、
51金、42玉、52金、31玉、

32香、同金、42金、22玉、
32金、同玉、31金、22玉、
21金、32玉、31金、42玉、
41金、52玉、51金、42玉、
52金、31玉、41金、21玉、
22香、同と、11歩成、32玉、
31金、42玉、41金、52玉、
51金、62玉、61金、52玉、
62金、41玉、51金、31玉、
21と、42玉、41金、32玉、
31と まで 125手

3×9の密集型。こういった作は大抵手順は単純なものですが、本作はいくつもの考えるポイントがちりばめられています。まずは3手目銀を打つか、単純に龍を切るかで迷います。結局、後の趣向部とのスムーズな接続には、銀を打つしかないのですが、手数をちゃんと数えないと結論を出せない面倒なところですよ。

中盤はきれいな趣向が出てくるので、筋に入ったと分かるのですが、問題は収束。11とを取ってしまったら、金輪際詰みません。ですから11とを残して、なおかつ攻めが続くように、金を一旦遠回りさせたりなどの工夫が要ります。

さて、この詰め上がりなのですが、実はこれ、忘れもしない私の詰パラ初登場作と同じ物なのです。

[7 -10b]

1981年12月 フェアリーランド

橋本孝治

ばか詰 71手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 皇 | | マ | 王 | マ | | 一 |
| | | | 皇 | | マ | マ | 歩 | | 二 |
| | | | 皇 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩8

詰パラに登場する前、私は近代将棋に4回入選して、4回とも余詰という悲惨なデビューをしています。更に追い討ちがこれ。と金を全部はがさずに、1枚だけ残すというのがこの作の構想だったのですが、見事早詰。

私が落ち込んだのは言うまでもありません。

しかし、時は私に創作力と f m を与えてくれました。15年の時を経て、初登場作の構想を、より拡張した形で実現することができたのです。初心の頃に果たせなかった夢を、より良い形で実現したこの作のおかげで、むかしの暗い思い出が、昇華された気がします。

七郎のフェアリーセレクション

既存の全検結果に、ちょっとした条件を付加すると、全く違った結果を得る例として駒詰からの成果を紹介しましょう。八方桂とその仲間を歩で詰めるばか詰については、その結果をすでに OFM やホームページ上で公開していますが、それに「成禁」という条件を付ける事によって違った成果を上げることが可能なのを示したのが六郎さんでした。

その中で特に特徴的な一局を紹介します。

ゼブラ王成禁ばか詰 33手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | 皇 | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩15

52歩、23縞、24歩、46縞、47歩、18縞、19歩、35縞、36歩、52縞、53歩、84縞、85歩、61縞、62歩、93縞、94歩、76縞、77歩、53縞、54歩、85縞、86歩、62縞、63歩、45縞、46歩、77縞、78歩、54縞、55歩、22縞、23歩 まで 33手

普通の条件ならば歩が7枚あれば、ゼブラを詰めるのは可能なのですが、本局ではなんと15枚もの歩を消費します。「成禁」というちょっとした条件の付加で結果がガラリと変わるという一例でした。

神無大九郎自選フェアリー詰将棋集

九九

神無大九郎

【9-1】

1996年1月 フェアリーランド
赤木誉幸

ばか詰 5手 2解

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | 金 | | 馬 | | | | 四 |
| | | 香 | | 王 | | 香 | | | 五 |
| | | 桂 | | | | 桂 | | | 六 |
| | | | 龍 | | 料 | | | | 七 |
| | | | | 桂 | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

54金、45玉、44金、55玉、
64角 まで 5手

57龍、45玉、47龍、55玉、
67桂 まで 5手

2解ともハートの二段曲詰である。
手数も短く、手順も単純なのだが結構評判が良かったのを覚えている。
当初はこのような形ではなく36桂は玉方で1解目はそれを取って67桂という手順であった。
現在の形を思い付き、再投稿したのだが金、龍の動きに対称性がありこの形で良かったと思う。
ハートの曲詰には、この作品のほかに3段曲詰と私の結婚祝い（未発表）のときに作ったものがある。また、ハート詰にはもう一つネタがあるのだがまだ創作に着手していない。

【9-2】

1996年2月 フェアリーランド
赤木誉幸

ばか詰 7手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 王 | 歩 | 馬 | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | 銀 | 桂 | 香 | 馬 | 銀 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 銀

54銀、56玉、45銀、65玉、
54銀、56玉、45角 まで 7手

二上二上の四段曲詰である。昔の作品はよく知らないが四段曲詰というのはめずらしいのではないだろうか。
以前からかしこ詰で有名な曲詰の作品のヤヒロ印、二上、NHKなどを作りたいと思っていた。なかなか面白い手順が思い浮かばずそのままにしていた。
この作品は大学院時代バイトの帰りに電車の中で数学の問題を解いていたとき閃いた手順である。
当時、詰将棋に対して一生懸命だった時期とはいえ変な時に思い付くものである。

【9-3】

1997年8月 フェアリーランド
赤木誉幸

対面ばか自殺詰 8手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛2 桂

48飛、同玉、88飛、87角、
44飛、45飛、46桂、57飛成 まで 8手

6手詰から2手逆算した作品である。
双裸玉**ばか自殺詰で10手以上になると
怠け者の私はなかなか解く気にならない。
逆に6手以下だと何か物足りなさを感じてしまう。

私が6手詰を作ったときほとんどの場合
意地悪をして2手逆算し8手詰にすることにしている。

自殺詰では基本的な逆算方法を行ったのだが
意外と簡単に完成してしまった。

この作品は私としてはかなりの自信作であったのだが
解答の短評を読んでもそれほどの評価は得られなかったようである。

【9-4】

1996年11月 フェアリーランド
赤木誉幸

対面ばか自殺詰 8手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛 桂 香

38桂、37飛、18桂、25玉、
55飛、35角、36香、同飛成 まで 8手

この詰め上がりはあまり見かけないが七郎氏の作品に同じような詰め上がりの作品がある。

この作品は他の作品を解いていたときに閃いた手順を図化しようとして、その副産物としてできたものである。

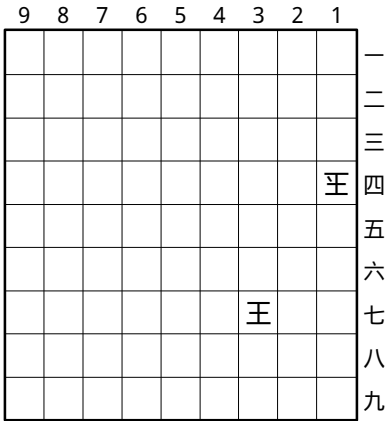
私はよく問題を解いていたときに閃いた手順を図化する方法で作品を作ってきた。詰パラの作品も解くことが少なくなっているのもこのような閃きで作ることがなくなってきた。

最近は、自分の作品の余詰筋を作品にすることが多い。元々作ろうとしていたものは、できないんだけど・・・

[9-4b]

1993年9月 第1回神無一族の氾濫
神無七郎

対面ばかり自殺詰 18手



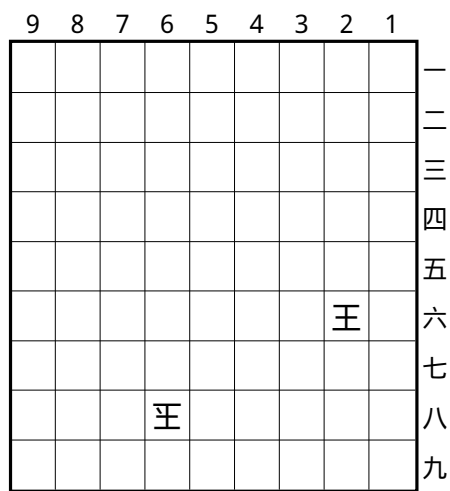
持駒 桂 歩4

15歩、同玉、27桂、26飛、
16歩、同玉、28桂、27飛打、
17歩、同玉、27桂、16玉、
28桂、同飛生、46飛、26角、
27歩、同飛成 まで 18手

【9-5】

1999年7月 フェアリーランド
赤木誉幸

対面ばかり自殺詰 8手



持駒 角2

86角、85飛、69角、13玉、
46角、24桂、25角、同飛 まで 8手

私の作品の中に26王 36王の対面ばかり自殺詰（8手）の作品（詰パラ98年8月号）がある。その作品は、対面の定番的な詰め上がりの作品で非常につまらないものである。

本作品は、一つ王を右に寄せただけの違いなのであるが非常に珍しい詰め上がりの作品になった。次図をご覧ください。

詰め上がり

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 王 | 三 |
| | | | | | | | 王 | | 四 |
| | | | | | | | 王 | | 五 |
| | | | | | 角 | 王 | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

対面特有でこの詰め上がりを想像するのはたやすい事ではないと思う。

私も双裸玉対面ばか自殺詰をかなり作っていて、気にいっている作品もいくつかあるが、その中で一つを選べといわれれば間違いなく私はこれを選択する。

【9-6】

1999年4月 フェアリーランド
赤木誉幸「なりなり6」

ばか自殺詰 60手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | 金 | 金 | | | 五 |
| | | | | | | | | 金 | 六 |
| | | | | | 飛 | 王 | | 歩 | 七 |
| | | | | | 歩 | | | 王 | 八 |
| | | | | | 金 | 歩 | | | 九 |

持駒 飛

- 38飛、28角、同飛、19玉、
- 18飛、同玉、36角、27飛、
- 同角、29玉、38角、18玉、
- 29角、同玉、26飛、27角、
- 同飛、28角、同飛、19玉、
- 18飛、同玉、36角、27飛、
- 同角、29玉、18角、同玉、
- 36角、29玉、26飛、27銀、
- 同飛、18玉、26飛、27銀、
- 同角、29玉、36角、27銀、
- 同飛、28香、38銀、18玉、
- 26飛、27角、29銀、19玉、
- 28銀、29玉、38銀、同角生、
- 19銀、27銀、18銀、同玉、
- 29銀、同角成、19香、同馬 まで 60手

序盤の持駒変換、中盤の銀取、終盤の香合からの収束とうまくまとまっていると思う。合駒制限の為だけの配置がない上に駒数も非常に少ない。手数はそれほど長さではないのだが完成度ではシリー

ズ中一番かもしれない。
以下、簡単に盤面の遷移をご覧頂きたい。

1 28手 序盤の持駒変換
飛 角 角角 飛角の順で持駒を変換

途中図 1

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | 金 | | 金 | | 五 |
| | | | | | | | | 金 | 六 |
| | | | | | 飛 | 王 | | 歩 | 七 |
| | | | | | 歩 | | | 王 | 八 |
| | | | | | 金 | 歩 | | | 九 |

持駒 飛 角

29 41手 中盤の銀取
飛角を使用し、銀を3枚取得

途中図 2

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | 金 | | 金 | | 五 |
| | | | | | | 角 | | 金 | 六 |
| | | | | | 飛 | 王 | 飛 | 歩 | 七 |
| | | | | | 歩 | | | | 八 |
| | | | | | 金 | 歩 | 王 | | 九 |

持駒 銀3

42 60手 終盤の香合からの収束

詰め上がり

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | 金 | | 金 | | 五 |
| | | | | | | 角 | 飛 | 金 | 六 |
| | | | | | 飛 | 王 | 銀 | 歩 | 七 |
| | | | | | 歩 | | | 王 | 八 |
| | | | | | 金 | 歩 | | 銀 | 九 |

持駒 なし

私が初めて手にしたパラには、第一回目の神無一族の氾濫が掲載されていた。ばか、ばか自殺、安南、対面など今まで聞いたこともない言葉が各問題ごとについていた。なんかよく分からないけど解いてみるかと思いき、ルール説明と格闘し解いた記憶がある。半分ぐらいしか解けなかったと思うがすっかりフェアリーの面白さにはまってしまった。この辺りがちょっと(かなりか?)変なのかなと自分で思ったりする。その6ヶ月後、第二回神無一族の氾濫が掲載された。このときに三郎氏の『星姫』という密室型の作品があり、この作品を解いたときの衝撃は今でも忘れられない。

[9 -6b]

1994年6月 第2回神無一族の氾濫
神無三郎「星姫」

ばか自殺詰 36手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | 金 | 金 | 角 | | | 四 |
| | | | | 金 | 歩 | 歩 | 歩 | 金 | | 五 |
| | | | | 香 | | | 王 | 香 | | 六 |
| | | | | 香 | | | | 桂 | | 七 |
| | | | | 香 | | | 王 | | | 八 |
| | | | | 桂 | | 桂 | | 桂 | | 九 |

持駒 飛

46飛、36飛、同飛、同玉、
38飛、37飛、同飛、46玉、
49飛、48銀、同飛、47角、
36飛、同玉、38飛、37飛、
同飛、26玉、36飛、同角生、
27銀、同角生、46飛、36飛、
同飛、同玉、38飛、37飛、
同飛、46玉、48飛、47銀、
36飛、同玉、38飛、同銀成 まで 36手

この星姫に刺激を受け、4年後完成したのが『なりなり』である。

[9 -6c]

1998年9月 フェアリーランド
赤木誉幸「なりなり」

ばか自殺詰 46手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | と | 歩 | | 六 |
| | | | | | | と | 歩 | | 王 | 七 |
| | | | | | と | 歩 | | 角 | 角 | 八 |
| | | | | | 歩 | 王 | | 銀 | 金 | 九 |

持駒 飛2 金

38銀、同玉、49金、同玉、
27角、38銀、同角、同玉、
29金、同玉、19飛、38玉、
29銀、49玉、18銀、29角、
同飛、38玉、27銀、29玉、
18銀、38玉、16角、27銀、
同銀、49玉、18銀、38銀、
同角、同玉、27銀、49玉、
19飛、29角、同飛、39飛、
38銀、同玉、16角、27銀、
49銀、29玉、38銀、同飛成、
18銀、同銀成 まで 46手

【9-7】

1999年8月 フェアリーランド
 赤木誉幸「なりなり7」
 (誤植にて11月再出題)

ばか自殺詰 100手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | 歩 | 歩 | 銀 | | |
| 三 | | | | 金 | 香 | 歩 | 桂 | 金 | | |
| 四 | | | 金 | 歩 | | | | 香 | | |
| 五 | | | 歩 | | | | | 香 | | |
| 六 | | | 香 | 王 | | 王 | | 歩 | | |
| 七 | | | 飛 | 桂 | 歩 | | 桂 | 銀 | | |
| 八 | | | 銀 | 銀 | | | 王 | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 角2

34角、55玉、37角、46飛、
 同角、44玉、55角、同玉、
 45飛、56玉、25飛、45角、
 同角、55玉、34角、44玉、
 26角、34玉、35飛、44玉、
 25飛、35桂、同角、55玉、
 26角、35角、37角、44玉、
 55角、34玉、26桂、同角、
 24飛、同玉、46角、35飛、
 同角、同角、26飛、25歩、
 同飛、34玉、35飛、44玉、
 34飛、55玉、35飛、45桂、
 46角、44玉、45飛、34玉、
 35飛、24玉、45飛、35角、
 25歩、34玉、44飛、同玉、
 35角、55玉、44角、同玉、
 26角、35飛、同角、55玉、
 44角、同玉、24飛、34角、
 同飛、55玉、37角、46角、
 35飛、44玉、45飛、34玉、

44飛、同玉、26角、35飛、
 同角、同角、46飛、45角、
 同飛、34玉、26桂、同角、
 35飛、44玉、34飛、55玉、
 35飛、45桂、37角、同角成
 まで 100手

詰め上がり

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | 歩 | 歩 | 銀 | | |
| 三 | | | | 金 | 香 | 歩 | 桂 | 金 | | |
| 四 | | | 金 | 歩 | | | | 香 | | |
| 五 | | | 歩 | 王 | 王 | 飛 | 歩 | 香 | | |
| 六 | | | 香 | | | 王 | | 歩 | | |
| 七 | | | 飛 | 桂 | 歩 | 王 | 桂 | 銀 | | |
| 八 | | | 銀 | 銀 | | | 王 | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 なし

シリーズ当初の作品なので、囲いの作り方がヘタである。1、6筋の壁が暑苦しい。太郎氏からスッキリとした改図案を頂いたのだが、私の怠慢でこのまま発表してしまった。

神無太郎改図案

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | 金 | | | | |
| 三 | | | | 金 | 香 | 歩 | 香 | 金 | | |
| 四 | | | | 香 | | | | 香 | | |
| 五 | | | | 桂 | | | | | | |
| 六 | | | | 銀 | 銀 | | 王 | 王 | | |
| 七 | | | | 銀 | 桂 | | 歩 | 桂 | | |
| 八 | | | | 銀 | 王 | 歩 | 歩 | 銀 | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 角2

【9-8】

2000年5月 フェアリーランド
赤木誉幸「なりなり8」

85角、75玉、76角、85金、
同飛、同飛、74金、76玉、
75金、86玉、76金、同角 まで 96手

ばか自殺詰 96手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| 金 | | 銀 | 金 | | 銀 | | | | | 三 |
| 香 | 桂 | | 桂 | | 銀 | | | | | 四 |
| と | と | | と | 王 | | | | | | 五 |
| 香 | | 王 | 桂 | 桂 | 銀 | | | | | 六 |
| 香 | 歩 | 歩 | 歩 | 金 | | | | | | 七 |
| 香 | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛 金

86と、同玉、85と、同玉、
75と、同玉、95飛、85角、
同飛、76玉、54角、65角、
同角、85玉、74角、76玉、
54角、65飛、同角左、85玉、
74角、75玉、65飛、76玉、
95飛、65歩、85角、75玉、
76角、85飛、同飛、76玉、
65角、85玉、74角、75玉、
95飛、85飛、同飛、76玉、
86飛、75玉、95飛、85角、
76飛、同玉、85角、75玉、
76角、85飛、同飛、76玉、
54角、65角、86飛、75玉、
74金、同角、76飛、85玉、
65飛、75金、同飛上、86玉、
76飛、同玉、95飛、65飛、
同角、同角、74飛、75角、
同飛引、86玉、76飛、同玉、
85角、75玉、74角、85飛、
76歩、同玉、86金、同飛、

詰め上がり

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| 金 | | 銀 | 金 | | 銀 | | | | | 三 |
| 香 | 桂 | | 桂 | | 銀 | | | | | 四 |
| | 王 | | | 王 | | | | | | 五 |
| 香 | 王 | 歩 | 桂 | 桂 | 銀 | | | | | 六 |
| 香 | 歩 | 歩 | 歩 | 金 | | | | | | 七 |
| 香 | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

シリーズの中で、私が一番気に入っているのが『なりなり8』である。

中段の密室を作る時のメリットは、成不成の非限定が発生しないようにできることである。下段で密室を作っていたが成不成の非限定が発生した場合は中段に浮かす。

ただし、中段の密室は大模様になってしまう。『なりなり7』がその例である。

また、単に密室の囲いを中段に移動させると飛、角、香などを組みあわせて密室を破られてしまうことが多い。

『なりなり8』は、下段から中段に移動させた作品の中で非常にうまく行った例である。

【9-9】

1998年6月 第9回神無一族の氾濫
神無大九郎「なりなり10」

ばか自殺詰 106手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | | | | | | | | 五 |
| 香 | 香 | 香 | 香 | 金 | 金 | | | | | 六 |
| 銀 | 王 | | | 桂 | 金 | | | | | 七 |
| 桂 | 桂 | | | 王 | | | | | | 八 |
| 金 | 桂 | | | | 角 | | | | | 九 |

持駒 飛2

67飛、78玉、68飛、79玉、
69飛、78玉、79飛、同玉、
59飛、69角、同飛、78玉、
68飛、87玉、67飛、77歩、
69角、78飛、同角、同玉、
68飛、79玉、59飛、69角、
同飛引、78玉、68飛、87玉、
69角、78歩成、67飛、77歩、
78角、同玉、79飛、同玉、
77飛、78飛、同飛、同玉、
79歩、同玉、59飛、69角、
同飛、78玉、68飛、87玉、
67飛、77歩、69角、78飛、
同角、同玉、68飛、79玉、
69飛、78玉、79飛、同玉、
59飛、69角、同飛、78玉、
68飛、87玉、69角、78飛、
同角、同歩成、67飛、77角、
同飛、同と、69角、78飛、
同角、同玉、79歩、同玉、
59飛、69角、同飛、78玉、

68飛、79玉、78飛、同と、
59飛、69飛、同飛、同と、
77飛、78飛、同飛、同玉、
68飛、87玉、67飛、77飛、
78角、同玉、68飛、79玉、
78飛、同飛成 まで 106手

現在、発表している『なりなり』シリーズの中では最長手数作品である。
この『なりなり10』のように、同じようなことを繰り返しているように見えるが実はほんの少しずつ局面が変化しているというパズルチックな手順の作品が私は好きである。
この作品も飛角歩を使い少しずつ局面を変えながら詰め上がっている。

1 8手

87王 79王、持駒 飛飛 飛

途中図1

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | | | | | | | | 五 |
| 香 | 香 | 香 | 香 | 金 | 金 | | | | | 六 |
| 銀 | | | | 桂 | 金 | | | | | 七 |
| 桂 | 桂 | | | 王 | | | | | | 八 |
| 金 | 桂 | 王 | | | 角 | | | | | 九 |

持駒 飛

9 42手
持駒 飛 飛歩

途中図 2

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | | | | | | | 五 |
| 香 | 香 | 香 | 香 | 金 | 金 | | | | 六 |
| 銀 | | | | 桂 | 金 | | | | 七 |
| 桂 | 桂 | | | 王 | | | | | 八 |
| 金 | 桂 | 王 | | | 角 | | | | 九 |

持駒 飛 歩

43 60手
77歩を追加

途中図 3

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | | | | | | | 五 |
| 香 | 香 | 香 | 香 | 金 | 金 | | | | 六 |
| 銀 | | 歩 | | 桂 | 金 | | | | 七 |
| 桂 | 桂 | | | 王 | | | | | 八 |
| 金 | 桂 | 王 | | | 角 | | | | 九 |

持駒 飛 歩

61 80手
77歩 77と、持駒 飛歩 飛飛

途中図 4

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | | | | | | | 五 |
| 香 | 香 | 香 | 香 | 金 | 金 | | | | 六 |
| 銀 | | 歩 | | 桂 | 金 | | | | 七 |
| 桂 | 桂 | | | 王 | | | | | 八 |
| 金 | 桂 | 王 | | | 角 | | | | 九 |

持駒 飛2

81 92手
77と 69と、持駒 飛飛 飛角

途中図 5

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | | | | | | | 五 |
| 香 | 香 | 香 | 香 | 金 | 金 | | | | 六 |
| 銀 | | | | 桂 | 金 | | | | 七 |
| 桂 | 桂 | | | 王 | | | | | 八 |
| 金 | 桂 | 王 | 歩 | | 角 | | | | 九 |

持駒 飛 角

93 106手
78龍を追加

詰め上がり

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 銀 | 銀 | 銀 | | | | | | | | |
| 香 | 香 | 香 | 香 | 金 | 金 | | | | | |
| 銀 | | | | 桂 | 金 | | | | | |
| 桂 | 桂 | 王 | | 王 | | | | | | |
| 金 | 桂 | 王 | ? | | 角 | | | | | |

持駒 なし

この作品は着手の範囲が非常に狭く、詰めることはそれほど難しい事ではないと思う。ただし、最短手数で詰ませるのは少しなやましい作品であると思う。

【9-10】

1999年12月 第12回神無一族の氾濫
神無大九郎「なりなり14」

ばか自殺詰 100手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|--|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | 銀 | | 王 | 王 | | | | | |
| | | 銀 | | 桂 | 桂 | 香 | 香 | | | |
| | | 銀 | | | 香 | 王 | 香 | | | |
| | | | 王 | | | | 桂 | 金 | | |
| | | 王 | | 王 | 桂 | 飛 | 金 | | | |

持駒 飛 角2

- 67角、38玉、58飛、48全、
- 同飛、同玉、66角、57飛、
- 同角、37玉、48角、同玉、
- 58飛、49玉、57飛、58角、
- 38銀、同玉、58飛、48銀、
- 49角、同玉、59飛、38玉、
- 37金、同銀生、58飛、48金、
- 同飛、同玉、58金、49玉、
- 57金、58飛、同角、38玉、
- 49角、同玉、69飛、59角、
- 同飛、38玉、58飛、48角、
- 同飛、同玉、58金、49玉、
- 59金、38玉、49金、同玉、
- 67角、58飛、同角、38玉、
- 49角、同玉、67角、58角、
- 59飛、38玉、58飛、48金、
- 同飛、同玉、66角、57飛、
- 58金、49玉、57金、48玉、
- 58金、49玉、48飛、同銀生、
- 57金、58飛、同角、38玉、
- 49角、同銀生、58飛、48角、

同飛、同玉、67金、57飛、
 同角、37玉、48角、同玉、
 58飛、同銀生、66角、57飛、
 同角、49玉、69飛、同銀成
 まで 100手

詰め上がり

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|--|--|---|
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | 銀 | | 歩 | 歩 | | | | | | 五 |
| | | 銀 | | 桂 | 桂 | 香 | 香 | | | | 六 |
| | | 銀 | 金 | 角 | 香 | | 香 | | | | 七 |
| | | | 王 | | | | 桂 | 金 | | | 八 |
| | | 歩 | 歩 | | 王 | 桂 | 飛 | 金 | | | 九 |

持駒 なし

『なりなり12』を作成後、面白いアイデアが浮かばずなりなりシリーズを作るのを一時中断していた。仕事に疲れていた時になんとか作りたくなって作ったのが『なりなり14』である。これは完成までにえらい苦労したのを覚えている。37成銀を見て頂ければ、苦労の跡が伺えると思う。

初めはあまり見るべきところが無い作品だと思い、発表するのを控えようとしていたが、OFM で37に銀を忍ばせる手順や57へ金鋸で移動する手順を褒めて頂いた。99年最後の神無一族の氾濫で(ただの手数順だけど)トリを務めた作品である。

神無右京自選フェアリー詰将棋集

京の土産

神無右京

【10¹⁶-4】

1985年7月 将棋パズル56

中島和男「大喜利」

1988年2月 修正

京都詰 23手

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | 一 |
| | 王 | | 香 | 香 | | 二 |
| 歩 | | | | | 飛 | 三 |
| | と | 金 | | | | 四 |
| | 銀 | | 角 | | | 五 |

持駒 なし

45と/香、31玉、42香/と、同玉、
52歩/飛、同玉、44金/桂、41玉、
52角/銀、31玉、32桂/金、同玉、
33銀、31玉、21香/と、同玉、
43銀/角、11玉、12飛/歩、同玉、
21角/銀、同玉、22金 まで 23手

京都詰は、将棋パズル誌^{注1-1}で作品を発表していた当時、もっとも力を入れていたジャンルである。

この将棋は田宮克哉さん考案^{注1-2}になるもので、正式名「ミニ将棋」、別名「京都銀閣金鶏飛譜」^{注1-3}、俗に「京都将棋」と呼ばれている。その詰物を「京都銀閣詰将棋」、略して「京都詰」^{注1-4}と称している。

他人がやっていないジャンルなので、自分が作ったものが即ちその分野の歴史となる。余詰を除いて19局発表したのが、そのうち13局が京都煙である。

煙とはいえ、所詮駒がたった10枚のミニ将棋のこと、発展性や妙手は望むべくもないが、狭い中で精一杯バラエティを付けるよう努力してきた。

第1号の京都双玉煙「煙草」^{注1-5}、辛口評で有名な護堂浩之氏他に賞賛いただい

たトリック煙「曲球（くせだま）」^{注1-6}、上部に脱出させる独特の追い方の煙「前進」^{注1-7}、途中無仕掛けになる京都マキシ煙「流星」^{注1-8}、などなど、それぞれに愛着があるが、本集にとりあげるにあたっては、京都煙最長手数の本局を選んでみた。

たかが23手、とはいえ、京都将棋を少し指してみると分かるが駒の動きは不自由で、合駒は入れにくく、連続の捌きは非常に難しい。

30手を目標とし、ついに達成できなかったが、25角の3段活用が最大限の主張である。今後記録に挑戦する人があるとも思えないが、できるとすればこの銀/角をいかに活用するかがカギになることだろう。

【注】

- 1-1 最初は田宮さんが詰パラ誌上の1コーナーとして連載していたもので、将棋の駒を使ったオリジナルパズルを出題、解答募集されていた。後に独立してミニコミ誌となり、他誌でやっていない詰物を専門に扱う、投稿者が出題・解答集計・結果稿作成をするので発行者も解答参加する、作品が溜まると作品集を作る、など、ユニークな運営が特色であった。
- 1-2 田宮さんは「将棋パズル」の解答賞品に、オリジナルパズルを満載した「どたまのトレーニング資料（どたトレ資料）」なるものを多数製作されている。その一環として、これまた独特のミニ将棋を紹介した資料を発行されているが、そのうちもっとも世間に広まったのが京都将棋である。
- 1-3 使用駒の名称と裏表の関係（香 - と、銀 - 角、金 - 桂、飛 - 歩）さらに指し将棋の駒を並べる順番をも表現している。

1-4 田宮さんの主張によれば、「京都詰め」と書くのが正しい。「京都詰」だと「キョウトキツ」と読む。

1-5
「煙草」
京都詰 19手

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 王 | 一 |
| 飛 | | | 香 | 銀 | 二 |
| | 桂 | 王 | | | 三 |
| 角 | | 銀 | ? | 金 | 四 |
| | | | | | 五 |

持駒 なし
23金/桂、同と/香、21香/と、同玉、
31桂/金、同玉、32角/銀、同飛/歩、
同飛/歩、41玉、31歩/飛、同玉、
41飛、同玉、23銀/角、52玉、
41角/銀、同玉、42と まで 19手
2枚の飛車捨てから収束がいかにも京都詰らしい手順。

1-6
「曲球」
京都詰 19手

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|
| | | | 飛 | 角 | 一 |
| | | 銀 | | 王 | 二 |
| | | 銀 | | ? | 三 |
| | | 金 | | と | 四 |
| | | | | 角 | 五 |

持駒 なし
13と/香、同玉、24と、12玉、
14と/香、13飛/歩、同香/と、同玉、
24角/銀、同桂/金、12飛、同玉、
24金/桂、13玉、12桂/金、同玉、
23金、21玉、22角/銀 まで 19手
6手目13と、と打つと初形に戻るようだが、この時は24金/桂が成立する。よって33飛の移動合が最善。

1-7
「前進」
京都詰 21手

| | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| | | | | | 一 |
| | | 歩 | 銀 | 王 | 二 |
| | 香 | | | | 三 |
| | | 香 | | | 四 |
| | | | 金 | | 五 |

持駒 なし
21銀/角、22玉、33香/と、同玉、
31歩/飛、44玉、33角、53玉、
45桂、52玉、42香/と、同歩/飛、
53桂/金、同玉、42角/銀、同玉、
34金/桂、31玉、32飛、21玉、
22桂/金 まで 21手
33香/とから45桂に至る手順が京都詰としては異色。

1-8
「流星」
京都マキシ詰 21手

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|
| | | | | | 一 |
| | | と | 銀 | 王 | 二 |
| | | | 歩 | 銀 | 三 |
| | | | 角 | 飛 | 四 |
| | | 銀 | | | 五 |

持駒 なし
21歩/飛、同金/桂、12角/銀、22玉、
11銀/角、13玉、22角/銀、同玉、
12金、同玉、45銀/角、23と/香、
同角/銀、同玉、24と、32玉、
34と/香、33桂/金、同香/と、41玉、
42金 まで 21手
マキシでは当然とはいえ、右辺の駒を全部捨てて45銀/角がちょっと意表を突くと思う。

【10¹⁶ 2】

1987年4月 将棋パズル62

中島和男

「佐藤の主題による変奏曲とフーガ」

1998年 改良

ボカスカ詰 69手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | 歩 | | | | | | | 馬 | 一 |
| | | | | 金 | | | | | 王 | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| 銀 | | | | | | | | | | 七 |
| | | 歩 | | | | | | | 桂 | 八 |
| | | 歩 | | | | | 香 | 香 | | 九 |

持駒 桂2

(25,35)桂、14玉、右桂(13,23)成、15玉、
 下圭、16玉、下圭、17玉、
 下圭、18玉、下圭、29玉、
 下圭、39玉、左圭、49玉、
 左圭、59玉、左圭、69玉、
 左圭、79玉、88銀、同玉、
 左圭、78銀、同圭、同玉、
 87馬、68玉、77馬、58玉、
 67馬、48玉、57馬、38玉、
 47馬、同玉、(48,49)銀、56玉、
 左上銀、65玉、左上銀、74玉、
 左上銀、83玉、左上銀、82玉、
 上銀、91玉、上銀、82金、
 同銀、同玉、73金打、93玉、
 左金、94玉、下金、95玉、
 下金、96玉、下金、97玉、
 下金、98玉、下金、99玉、
 下金 まで 69手

ボカスカ将棋^{注2-1}は花沢正純さんが発案されたルールで、これまた「将棋パズル」誌オリジナル。

最初は詰物に馴染まないと思っていたが、手がけてみると意外に趣向の宝庫であることが分かってきた。

二枚金による追い趣向は佐藤伸夫さんが初めて作品化されたが、もっといろいろなバリエーションが可能だろうと思っていたとき、別途考えていた「銀2枚を持つての7段目の馬の横追い」をうまく結び付けることができ、作品になると思ったのを憶えている。

題名はそのような成立事情を表現したもの。

最初左上には駒を置かず、二枚銀で追いつめて終わりだったが、趣向を徹底するために二枚金での引き戻しを入れて、起承転結が明快な完成品になった^{注2-2}。

ところで本局、最初の発表時も改良図を出したときも不完全指摘はなかったが、初形玉の近くに強力な馬がいるため、いまだに余詰を恐れている。

離し王手に対するボカスカの強烈な守備力^{注2-3}を過信すると意外な落とし穴がありそうだ。

ボカスカは大味なところもあるが、まだまだ未発掘の宝の山だと思う。

【注】

2-1 ボカスカ将棋の棋譜は、2枚以上同時に動く場合は、将棋パズル誌では矢印で表現していたが、本書では右・下・右上・左下など方向を表わす語と駒名称とを組み合わせる。方向はすべて先手から見た向き。成るときは成る駒の座標のみ(xy,...)成、などと書く。

2-2 発表時は左上に駒が残ったが、後年収束を改良して煙になった。

2-3 たとえば金4枚を固めて打つ！

【10¹⁶-3】

1984年10月 将棋パズル53

中島和男「アダムとイブ」

寝済の花嫁 41手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | 飛 | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | と | | | 香 | | | 三 |
| | | | | | | 香 | | | 四 |
| | | | | | | 香 | | | 五 |
| | | | | | | 香 | 駒 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | 子 | 歩 | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

17歩、26姫、27子、15姫、
 16歩、25姫、26子、14姫、
 15歩、24姫、25子、13姫、
 14歩、23姫、24子、12姫、
 13歩生、22姫、33飛成、11姫、
 12歩生、21姫、32龍、同姫、
 33子、21姫、11歩成、31姫、
 21と、41姫、52と、同姫、
 42子、63姫、53子、74姫、
 64子、85姫、75子、96姫、
 86子 まで 41手

「寝済の花嫁」とは、佐藤伸夫さんの考案になるもので、独自の進化を遂げた「将棋パズル」誌でなければ生まれなかったであろう奇抜なルール。

もともとネズミ年の年賀作品用の単発ルールだったが、これまた意外に趣向向きのようで、他の人も作品を発表するようになったため、一つのジャンルとして認知されるようになった。

ほとんど世に知られていないがこのルールでの小駒煙^{注3-1}も存在する。

本作は、当初軽い追い趣向を目指して作り、53のと金は、はじめは歩だった。ところが42に捨てる余地を作ることで趣向の流れから自然に紛れ筋に陥りやすいと気づいたのが投稿直前。

もちろん42から作意同様に追うと姫が97に逃げ込んで成ってしまうので詰まない。

はまった解答者は少なかったが、作意解答者からは好意を以って迎えられた。

姫の行動範囲が制限されていることを除けば、一種の条件付き非対称駒^{注3-2}詰であり、ばか詰系でも発展の可能性はある。闇に葬るには惜しい^{注3-3}面白いルールだと思う。

【注】

- 3-1 花沢正純作。
 3-2 駒固有の利き筋が左右非対称であるのは、禽将棋における鶉くらしいのものであろう。田宮さん考案の「漢字駒」と称する駒群にも非対称のものが多数存在するが、パズル向けのみで指し将棋や詰物には現れていない。
 3-3 おまえが闇に葬ったんじゃないか、という声には沈黙するしかない。

【10¹⁶ 4】

1997年6月 第7回神無一族の氾濫
神無右京

ナイト王ばか自殺詰 8手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | 驃 | | | | | 一 |
| | | | | | 騎 | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛2

41飛、43騎、34騎、42銀、
33飛、35騎、22騎、33銀 まで 8手

「フェアリー駒の右京」ということになっているが、実はフェアリー駒詰でこれといった作品がない。OFMにいくつか発表作はあるが、あるものはあまりにマニアックで難解なため、解こうと言う人はいないだろう（ナイトライダー王^{注4-1}やFive Leaper 王^{注4-2}のばか自殺なんて考える気がします？）。

程よい難解性と手順のバランスが取れているのは本作くらいである。

神無一族に加入し、fmを使用するようになってはじめてのまともな作。前三局と比べて作風がまるで違っているのがお分かりだろう^{注4-3}。なんだか自分の作品とは思えない気分がいまだに抜けきれない。といってもfmの助けを借りて発見したものではなく、純粋に創作の産物なのである。

同じフェアリー駒作品でも、パラ97年8月号に発表した獅子王ばか詰^{注4-4}の方が、私本来の作風が出ていると思う。しかし完成度から言えばやはり本局を外すことはできない。

ナイト系の駒詰はコンパクトな形で空き王手を表現しやすい。それを8手で2回行って詰上りを見えにくくしている。飛打ちと空き王手のセットで繰り返す手順になっているのも取り柄だろう。収束の形から純粋に逆算で双裸玉にできたのは奇跡的といえる。

ところで本局のような双裸玉は、近い将来コンピュータにより全検されて無数の完全作リストの1局として埋もれてしまう宿命にある。

つまりこの種の作品は、いかに創意を盛り込もうともいまや創作物の性格が薄れつつあるのだ。

これをフェアリーの崩壊の危機と捉える向きもあるが詰将棋の基盤にしっかりと根づいたフェアリー詰将棋はもはやそんな脆弱なものではない。

無限に発展する潜在力を秘めた進化の過程なのだと受け取りたい。

本作はその進化の過程で、かろうじて私の創作の記録をとどめた記念碑のひとつと言えるであろうか。

【注】

4-1 夜（ナイトライダー）：ナイトの利き方向に走る駒。たとえば11夜の利きは 23、35、47、59、32、53、74、95の10箇所。

（作品図は次ページ）

4-2 伍（Five Leaper）：タテヨコ1マスの長さを1としたとき、ちょうど5の距離に利きを持つ駒。たとえば11伍の利きは、16、45、54、61にある。

（作品図は次ページ）

ナイトライダー王ばか自殺詰 10手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | ♁ | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | ♁ | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 角2

36角、69夜、89夜、47飛、
同角、58飛、65飛、33夜、
88角、同飛成 まで 10手

詰上りから強引に双裸玉にしたもの。

Five Leaper王ばか自殺詰 12手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | ♁ | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| ♁ | | | | | | | | | | 九 |

持駒 角

22角、33飛、同角成、44飛、
94飛、56伍、23馬、51伍、
54飛、52角、41馬、同飛 まで 12手

56角がないと、11-99のラインに対する
対称解も成立する。

4-3 マイナーなルールである点では共
通しているが。

4-4 獅(獅子): 中将棋の駒で、2手指し
ができる王の性能を持つ。2つの駒
を連続して取ることもできるし、す
ぐとなりにある駒は取って元の位
置に戻ることもできる(いわゆる
「居喰い」)。11にいる獅子が22の駒
を取って23へ行く時は、「22-23獅」
と表記する。

獅子王ばか詰 11手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 歩 | 六 |
| | | | | | | 歩 | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 蛾 | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂 香2

19香、37獅、39香、38飛、
同香、26獅、18桂、16-25獅、
21飛、14獅、26桂 まで 11手

最大24箇所地利きを持つ獅子玉で、手
順を完全限定するのは至難の業である。8
手目の歩を取っての移動が、苦心の末ひ
ねり出した創作上の妙手。

【10¹⁶ 5】

1999年10月 Online Fairy Mate 142号
神無右京
2000年 修正

背面Kマドラシばか自殺詰 6手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 王 | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | 王 | | | |

持駒 角

93角、92角、37王、28玉、
39角生、38角生 まで 6手 <注4>

完成度では現時点で自作中ベスト。全部の駒が目いっぱい働く高密度の手順と思う。

双方角不成もそうだが、初手角をわざわざ成れるところに打って不成で戻るといふ、ちょっとマニアックな構成が私好みである。

この手順、うまく発展させれば趣向詰になる可能性を秘めていると思う。

前局でも書いたが、本局のような双裸玉が創作物でいられるのは、近い将来、本書のような作品集の記録だけになってしまうはずである。

このような裸玉を含めた簡素形の創作というものは、今後2つの進む道がありうる。

1つは、好作が多く得られそうな条件に

絞って絨毯爆撃^{注5-1}をすること。即ち、その意味で収率の高いよい条件を嗅ぎ付ける能力を問われることになる。この場合はルールが先にある、手順はそこから必然的に発掘されてくることになる。

もう一つは、創意ある手順を表現する新たなルール、またはルールの組み合わせを案出するという。この場合は表現したい手順が主で、ルールは従である。

その意味で、本作は現時点での f m の守備範囲の枠を越え、手順を表現するためのルールの創作または組み合わせ、という新たな表現方法の実験作でもあるのだ。

【注】

5-1 一族における f m の代表的な使用方法。太郎作品集その他を参照のこと。

【神無太郎、神無小五郎】

本名山下繁実。1961年長崎県生まれ。静岡県沼津市在住。
「Online Fairy Mate」初代編集（1994年2月～1996年12月）
第3回妖精賞短編部門受賞。

【神無次郎】

本名石黒俊太郎。1954年東京都生まれ。愛知県名古屋市在住。
「f m」作製（1987年～）

【神無三郎】

本名小林博。号看空。1953年長野県生まれ。長野県須坂市在住。<注5>
「フェアリーランド」第五代担当（1983年1月～1988年3月）
「Online Fairy Mate」第三代編集（1999年2月～）
第11回前衛賞短編賞受賞。

【神無六郎】

本名服部敦。1957年生まれ。埼玉県浦和市<注6>在住。
「カピタン」第二代編集（1985年5月～1996年3月）
「将」編集（1988年3月～1996年2月）

【神無七郎】

本名橋本孝治。1964年愛媛県生まれ。埼玉県川口市在住。
「Onsite Fairy Mate」管理（1998年2月～）
第10回前衛賞長編賞、第12回前衛賞短編賞、第7回妖精賞長編部門受賞。

【神無大九郎】

本名赤木誉幸。1971年大分県生まれ。千葉県我孫子市在住。
第8回妖精賞新人賞受賞。

【神無右京】

本名中島和男。1958年京都府生まれ。京都府京都市在住。
「将棋パズル」第二代編集（1983年11月～1990年6月）
「Online Fairy Mate」第二代編集（1997年1月～1998年6月）

神 詰 大 全 / 神無一族自選フェアリー詰将棋集

2000年6月1日 発行

神無太郎 神無三郎 神無七郎 神無大九郎 神無右京 共著

注5：現在は長野県岡谷市在住。

注6：現在はさいたま市。

「神話大全」PDF 版発行に際して

「神話大全」書籍版を発行してから約5年、内容の充実とは裏腹に誤記の多さと書式の拙さがずっと不満だった。「無神都市」発行時にHTML化して一応の改善はしたが、流通、印刷に向くものではなかった。そこで、書籍版が品切れになって2年が過ぎたこともあって、PDF版を作成、広く配布することにした。

校正是第三者に託して万全を期した。なお、記録やアドレスなど経年変化する情報は脚注をつけて補った。

書式はほぼ満足のいくものにできた。ただし、技術的な問題により、書籍版とは異なるフォントを使った部分がある。

フェアリーでの「二極化傾向」を神無七郎氏が指摘している。フェアリー界は「マニア」と「ファン」の間で分裂してしまうというのである。進化する機械の力を常にぎりぎりまで利用する一族の活動が災いしているに違いない。普通詰将棋界では見られない現象ではないだろうか。

イエスイヤーズというドキュメンタリー映像がある。イエスのデビューから1991年の8人編成でのワールドツアーまでのレコーディング風景やツアーの様、インタビューなどで構成されており、その中で、ビル・ブラフォードがドラムシステムについてこう語っている。

| | |
|--|--|
| 曲を覚えたら 次はドラム探した 音の種類を打ち込む これだ バンブー・ハットに・・・ トーキング・ドラム ケルトドラム 他にもあるよ 叩くと こんな音がする こっちは基本的な音だ これは特定の曲のための構成だ 曲が変われば 音の配置も変わる | では 違った曲を “ 悟りの境地 ” だ 全ての音が変わるよ あの曲には これだけの音が要る コンピューターが 気まぐれな巨匠ジョンの 要求を満たしてくれるんだ 彼は最新のドラムの水準を知り 要求を強めてくる |
|--|--|

イエスイヤーズ / ワーナーヴィジョン・ジャパン
ドラムセットについて Bill Bruford

我々がイエスの暴君、ジョン・アンダーソンになってしまったのなら、それは本望である。

あと数年のうちには、一族の21世紀の最初の活動を総括する「新約・神話大全」を編むという個人的な構想がある。詰パラ誌上で定期的開催している「神無一族の氾濫」に倣い、特別ゲストを迎えてである。

我々は暴走しているのか、その時にでも明らかにしたい。

2005年2月 神無太郎